



E-TYPE



パック⑤組立ガイド

ステージ⑳ステアリングシステム・エンジン装着
ステージ㉓ラジエター
ステージ㉔フロントバルクヘッド1
ステージ㉕フロントバルクヘッド2
ステージ㉖フロントバルクヘッド3

ステージ㉗フロントバルクヘッド4
ステージ㉘右フロントホイール1
ステージ㉙右フロントホイール2
ステージ㉚右フロントホイール3

● 組み立て前の注意点 ●

- ① 予備ネジが付属しています。予備は必要本数+1個です（例：2本必要な場合には「×3」とパーツリストに示されます）。
- ② 異なるネジが交ざらないように注意してください。見た目はよく似ていますが、ネジ山が微妙に異なります。誤ったネジを使用すると、ネジ山や部品が破損することがあります。
- ③ 複数のネジで部品を固定する際、最初に各ネジを緩く締め付け、部品が正しく取り付けられているかを確認してから、各ネジを増し締めしてください（締めすぎないように注意）。
- ④ ドライバーの金属部分を磁石でこすると磁化され、先端でネジを保持しやすくなり、組み立てが楽になります。
- ⑤ 金属部品を留めるネジがきつい場合、無理に入れると頭やネジ山が破損します。爪楊枝の先などに機械オイルなどをほんの少し付けてネジ山に塗れば、スムーズに締められます。
- ⑥ 右側・左側は座席に座った位置から見た左右となります。

● 厳重注意 ● 一部の部品には磁石が使われています。磁石を誤飲すると、健康上の問題を生じる場合があります。こうした部品は子供の手の届かないところに置き、磁石を飲み込んだと思われる場合には、すぐに医師の診断を受けてください。

ステージ③2ステアリングシステム・エンジン装着

サブフレームにステアリングシステムに関連した部品を組み付け、エンジンも取り付けます。



ステージ③2パーツリスト

名称
ステアリングコラム
ラックマウント×2
ウォーターポンプ
ステアリングラック
ラジエターホース
アンチロールバーリンク×2
アンチロールバーマウント×2
アンチロールバー
ステアリングラックマウント
ウォーターホース
ネジAM01×5
ネジAG04×3
ネジAM16×3
ネジAM17×3
ネジAG06×3
ネジAG08×5



ステージ③ ステアリングシステム・エンジン装着

STEP 1



アンチロールバーの取り付け

アンチロールバーにアンチロールバーリンクを取り付けます。アンチロールバーリンクの1つを、写真のように片方の端のピンに押し込みます。



AG08のネジでアンチロールバーリンクを固定します。

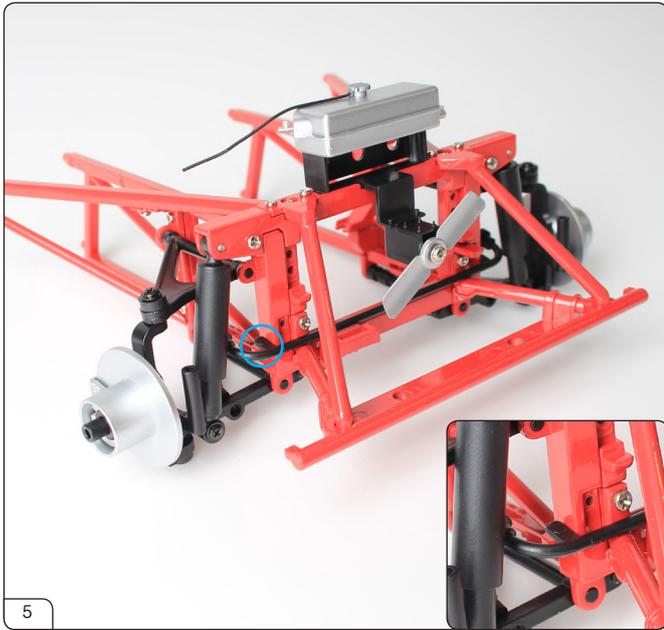


アンチロールバーにもう1つのアンチロールバーリンクを取り付けます。AG08のネジでアンチロールバーリンクを固定します。

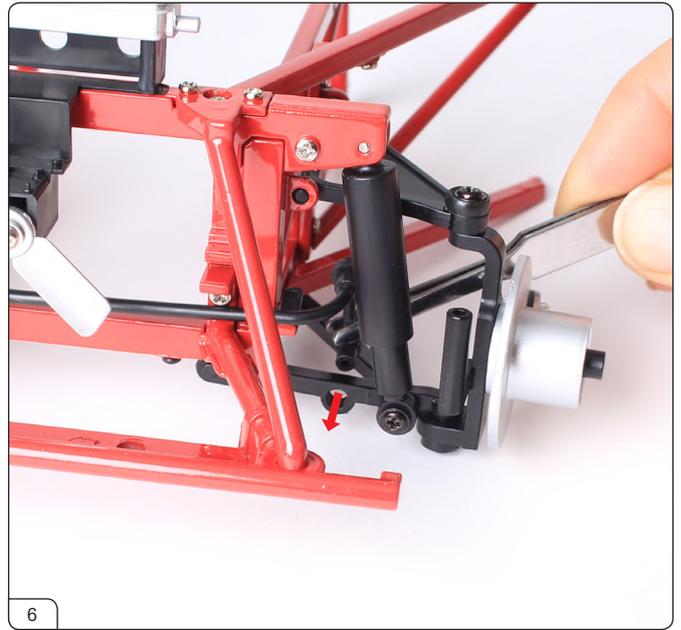


アンチロールバーを写真の青矢印の部分に配置します。

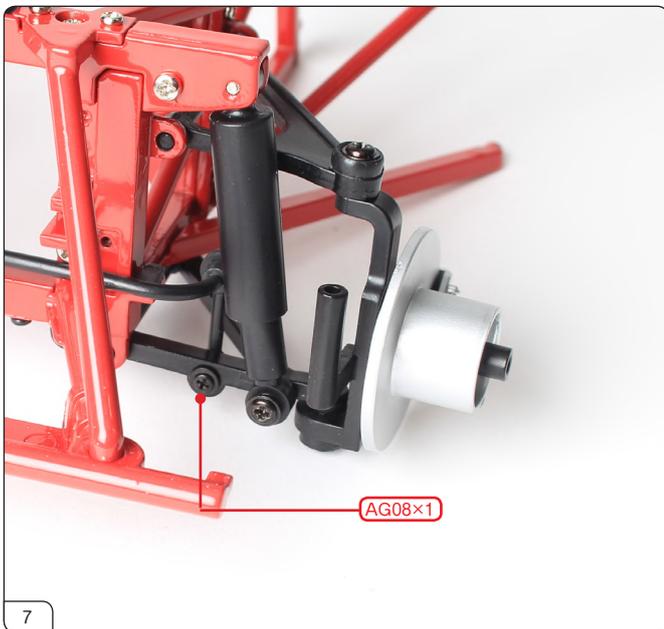
ステージ32 ステアリングシステム・エンジン装着



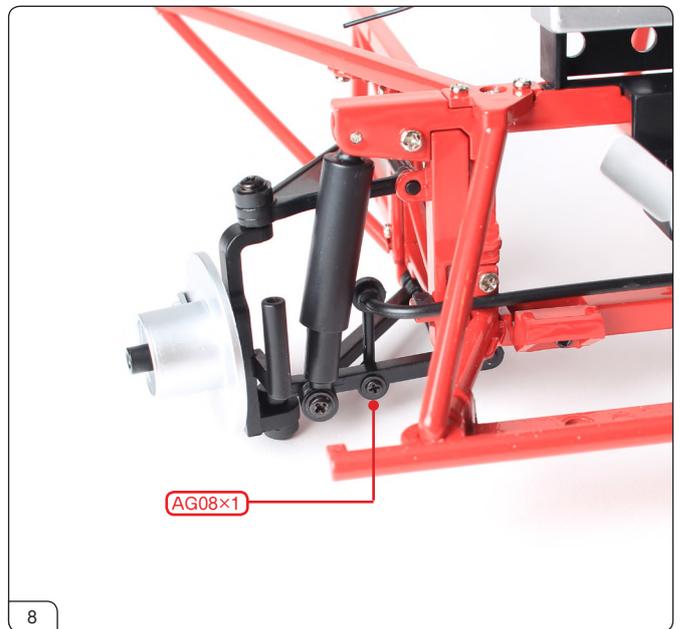
5
アンチロールバー両端の平らなタブを、サブフレームの青矢印部分に置きます。



6
アンチロールバーリンクの端にある突起を、ロアウィッシュボーンの穴に入れます。



7
AG08のネジでアンチロールバーリンクを固定します。

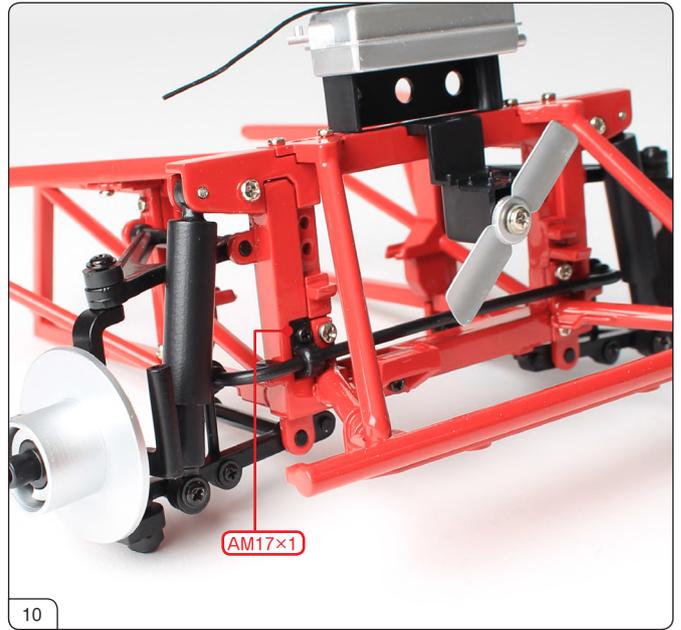


8
アンチロールバーのもう一方の端のアンチロールバーリンクも、同様にAG08のネジで固定します。

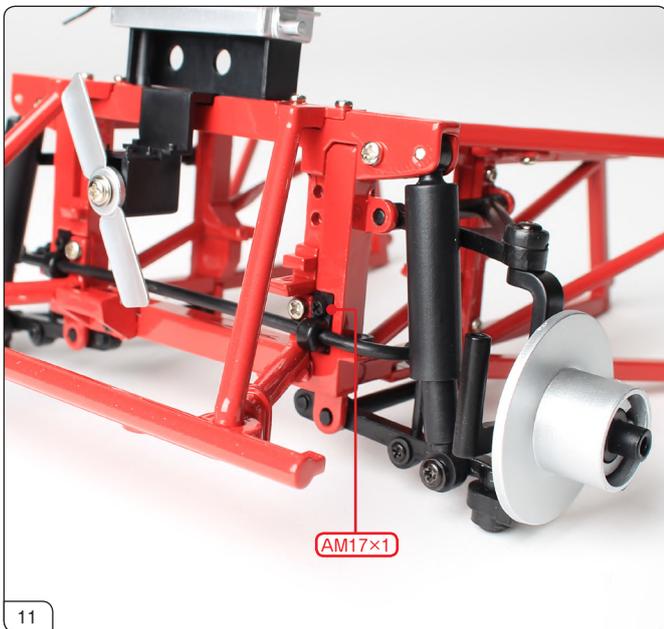
ステージ③ ステアリングシステム・エンジン装着



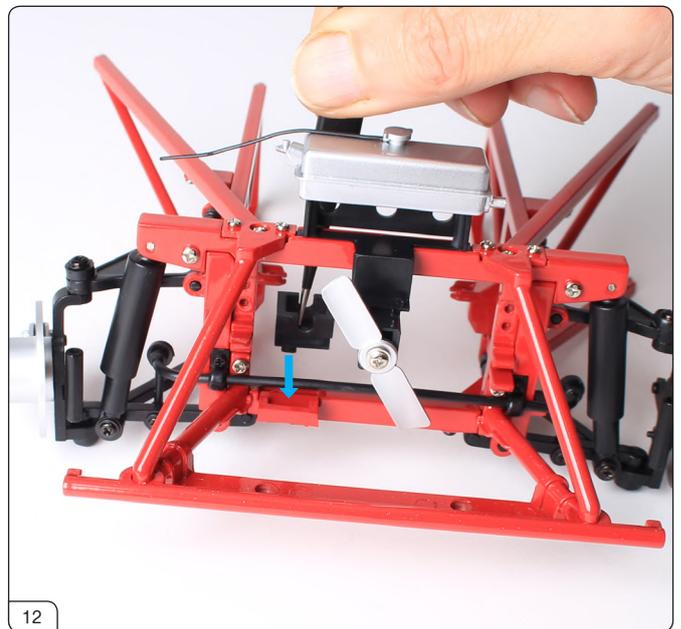
写真のようにアンチロールバーマウントをサブフレームの凹部(赤丸印)にはめ込み、アンチロールバーを保持します。アンチロールバーマウントがうまくはまらなければ、アンチロールバーマウントのプラスチック、もしくは凹部の金属や塗料を少し削ってみましょう。



アンチロールバーマウントをAM17のネジで固定します。



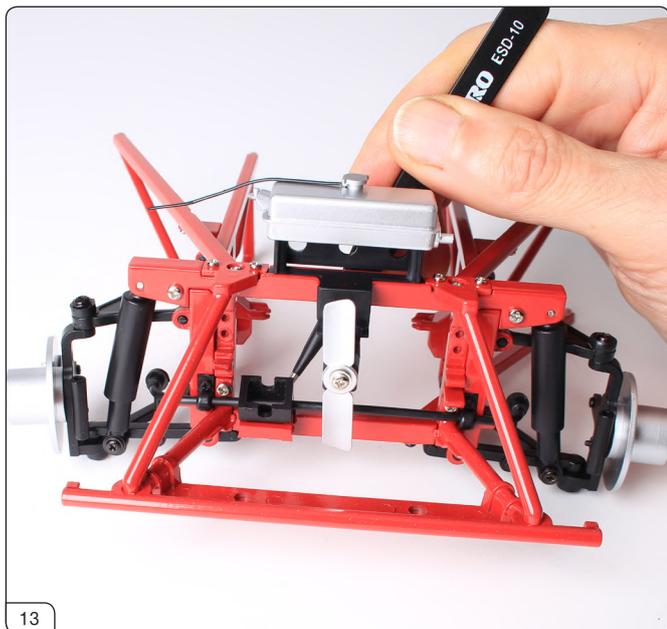
アンチロールバーのもう一方の端でも同様の作業を繰り返し、アンチロールバーマウントをAM17のネジで固定します。



ステアリングラックマウントの取り付け

ステアリングラックマウントの突起をサブフレームの写真の穴に入れます。

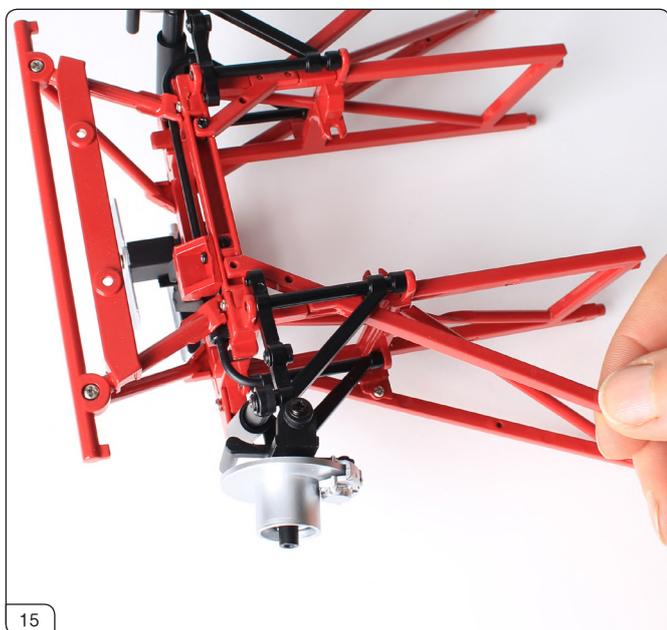
ステージ③②ステアリングシステム・エンジン装着



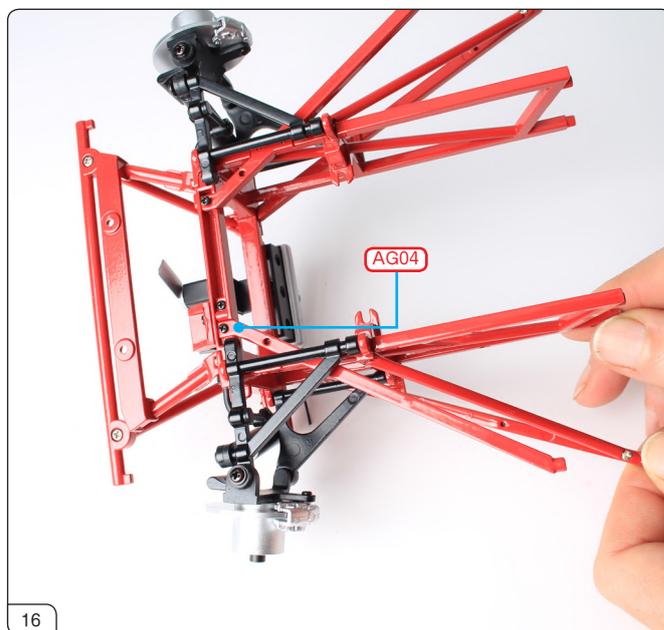
13 ステアリングラックマウントをしっかりと押し込みます。



14 裏側からAG04のネジで固定します。

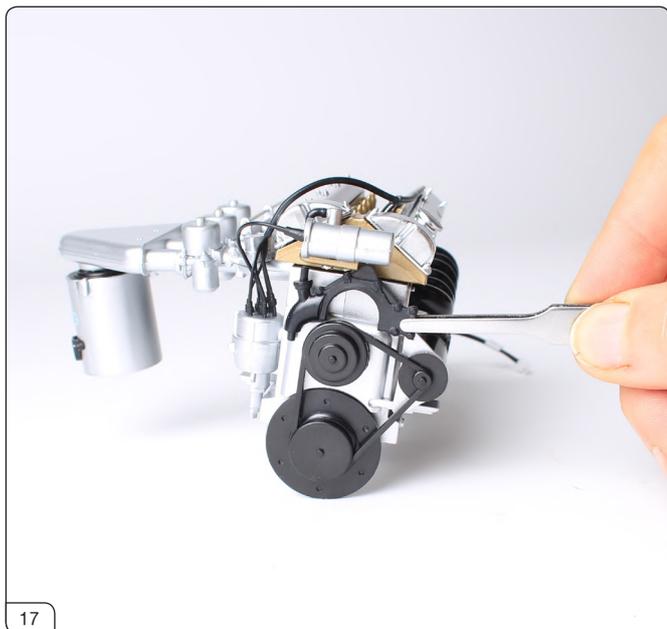


15 ステージ②で開梱した右ロアブレースを、取り付け済みの左ロアブレース同様にサブフレームにはめ込みます。



16 右ロアブレースをAG04のネジで固定しますが、ネジは締めすぎないように注意してください。

ステージ③②ステアリングシステム・エンジン装着



エンジンブロックにウォーターポンプを追加

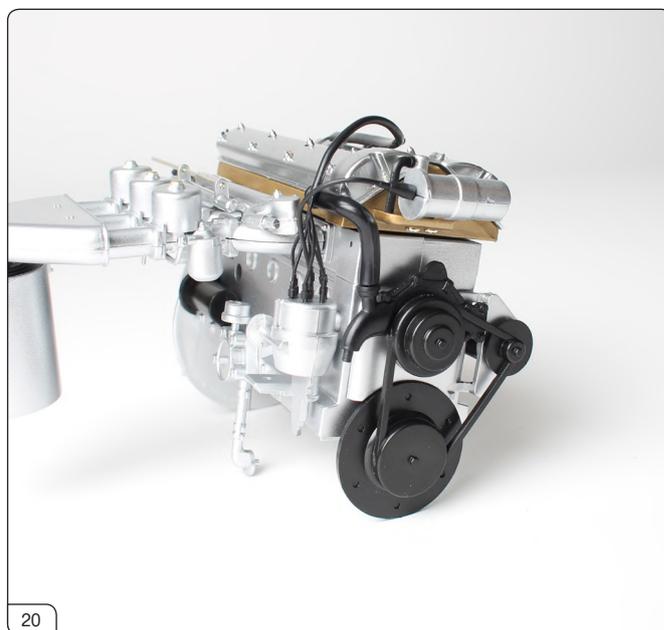
ステージ①で組み立てたエンジンブロックにウォーターポンプを取り付けます。



ウォーターポンプを写真のようにはめ込みます。



ウォーターホースをウォーターポンプの突起(赤丸印)とエンジンブロックの突起(青丸印)に差し込みます。

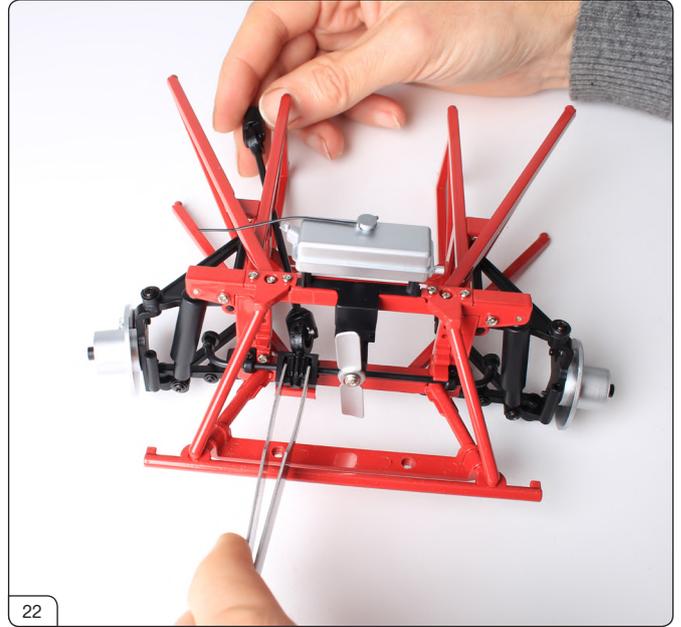


ウォーターホースの取り付けが終わった状態です。

ステージ32 ステアリングシステム・エンジン装着



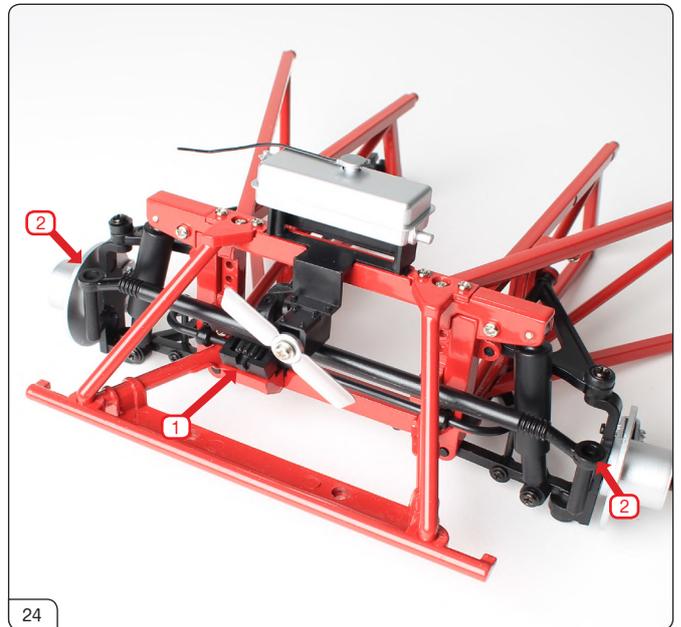
ステアリングコラムとステアリングラックの取り付け
ステアリングコラムをサブフレームに取り付けます。



写真のように、ステアリングコラム先端のピニオンギヤをステアリングラックマウントに収めます。

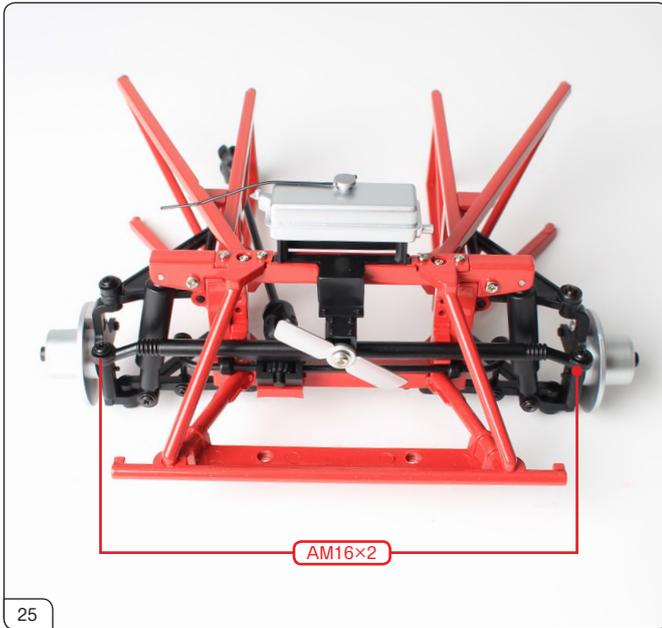


ステアリングラックを、写真のようにサブフレームに通します。車輪がまっすぐ前を向いているとき、ステアリングコラムのD型の平らな面（ピニオンギヤと反対側）が上向きになるように配置します（右下小写真参照）。

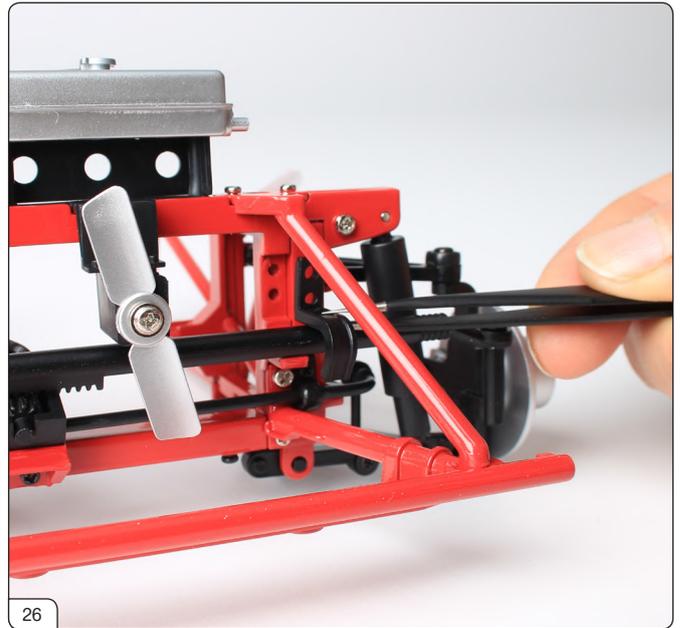


ステアリングラックマウント内のステアリングコラムのピニオンギヤが、ステアリングラックのラックギヤとかみ合っているか確認してください（赤矢印1）。ステアリングラックの端をステアリングアップライトの支柱にはめ込みます（赤矢印2）。

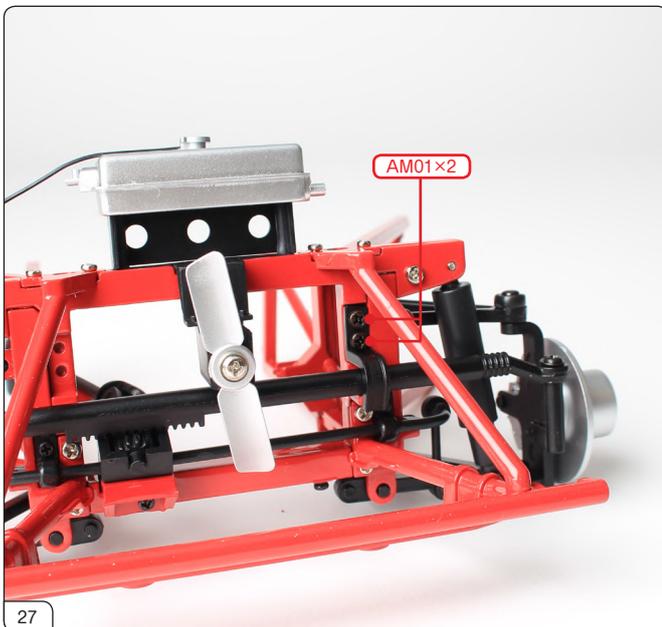
ステージ③ ステアリングシステム・エンジン装着



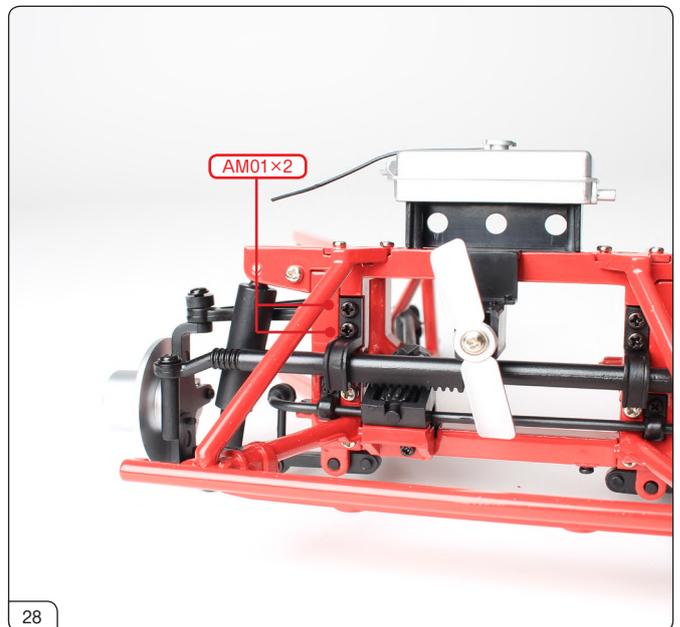
AM16のネジ2本で、ステアリングラックをステアリングアップライトに固定します。



ステアリングラックの上からラックマウントをサブフレームの凹部に合わせます。

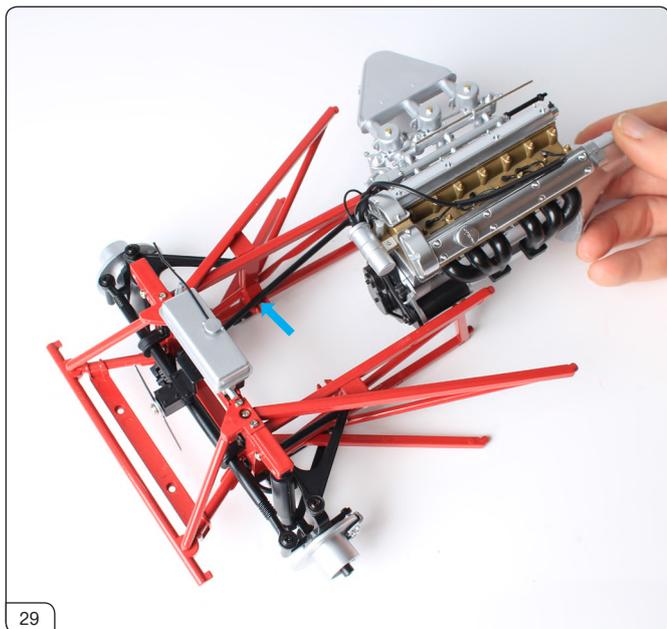


AM01のネジ2本で固定します。



同様の手順で、もう1つのラックマウントをサブフレームの凹部にAM01ネジ2本で固定します。

ステージ32 ステアリングシステム・エンジン装着

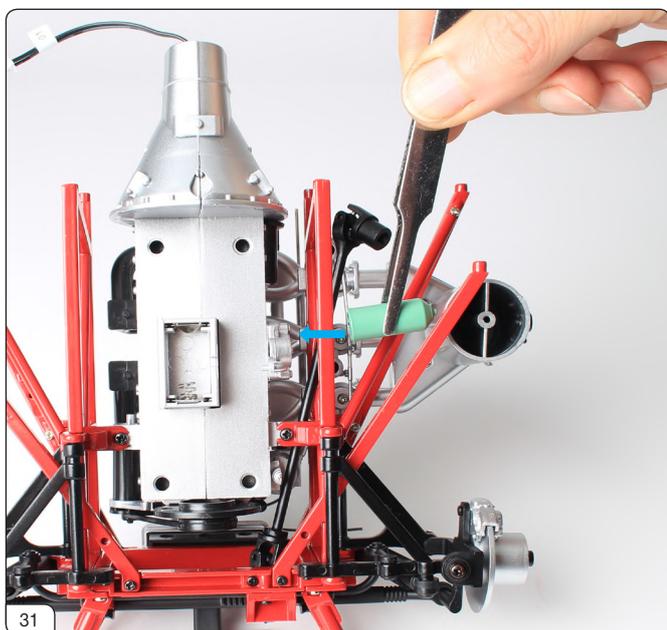


エンジンの装着

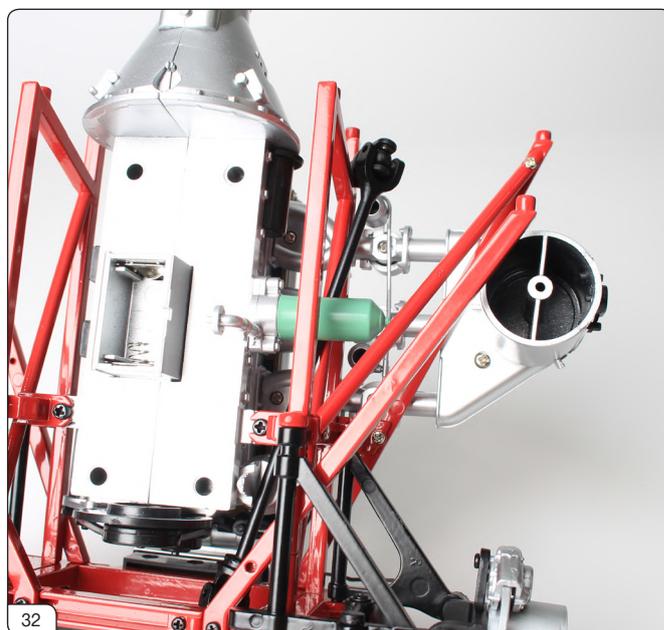
エンジンブロックをサブフレーム後部に置きます。ステアリングコラムは、作業の邪魔にならないように横に倒しておきましょう(青矢印)。



エンジンブロックのマウント部を、写真のようにAG06のネジ2本で固定します。ステアリングコラムは青矢印のように逃がしてください。

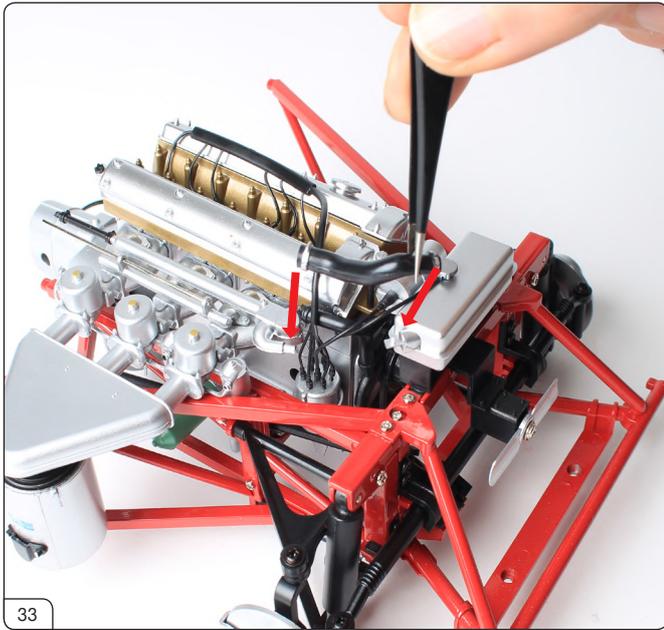


ステージ30で開梱したオイルフィルターを取り付けます(青矢印)。

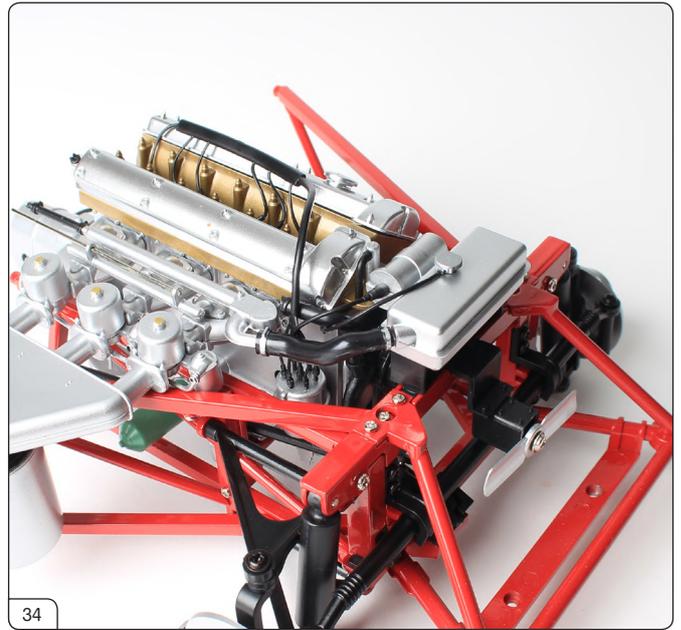


オイルフィルターが取り付けられた状態です。

ステージ③②ステアリングシステム・エンジン装着



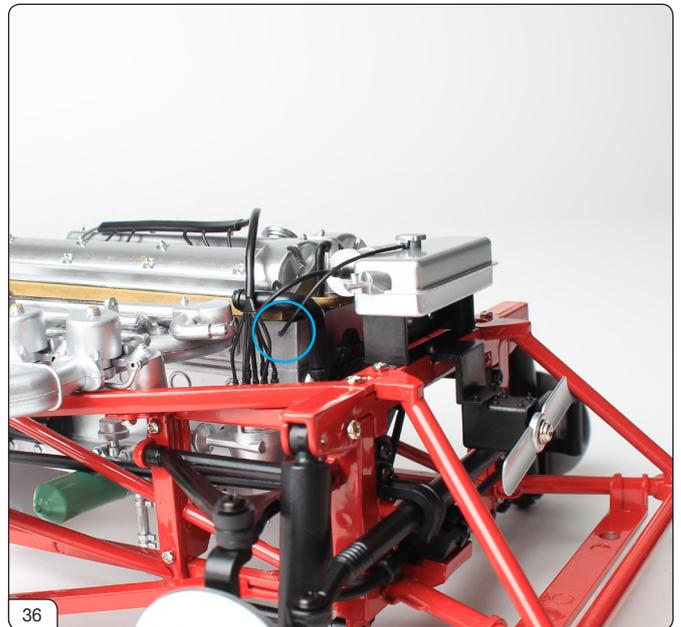
ステージ③①で開梱したホースを赤矢印の部分に取り付けます。



ホースが取り付けられた状態です。

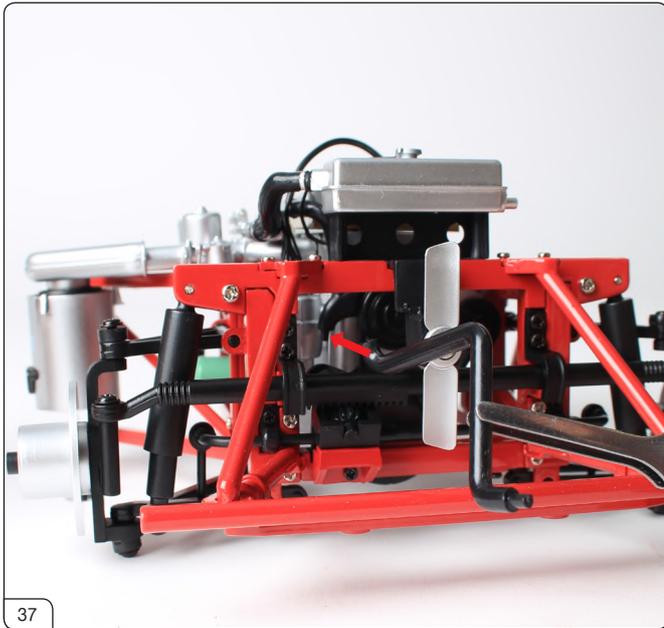


ラジエーターヘッダータンクのフィラーキャップから伸びているホースを、エンジンブロックに取り付けます。

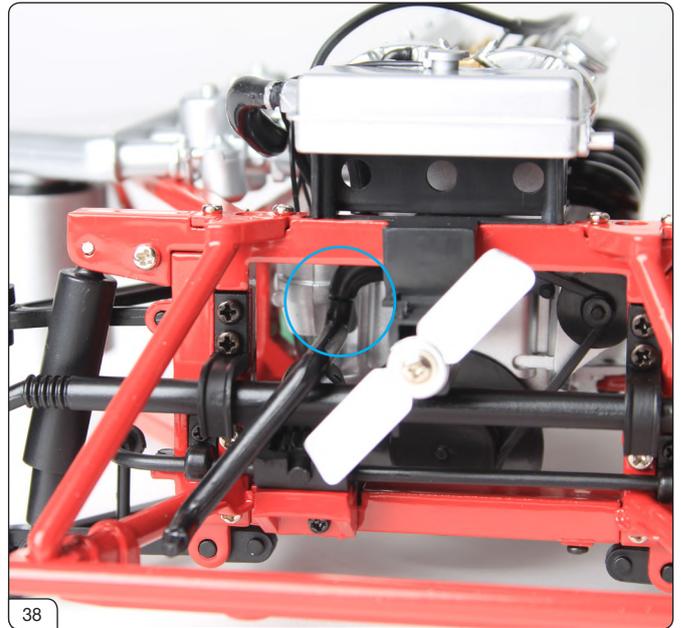


ホースをエンジンブロックの小さな穴(青丸印)に押し込みます。

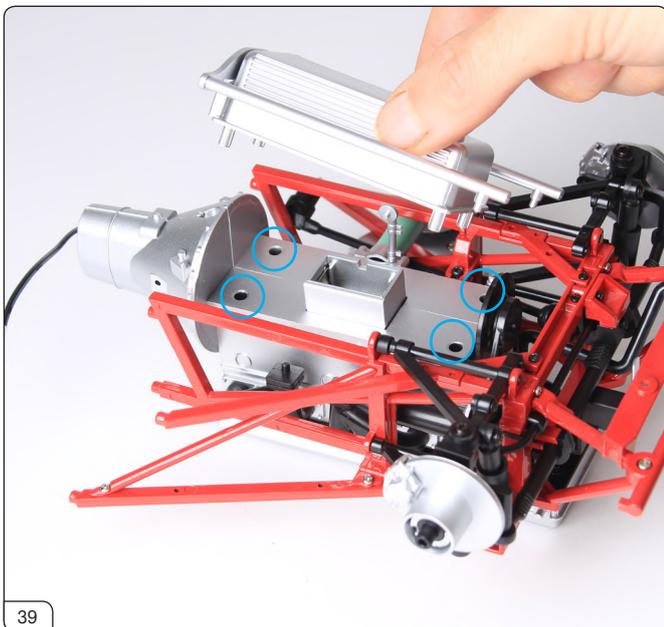
ステージ③②ステアリングシステム・エンジン装着



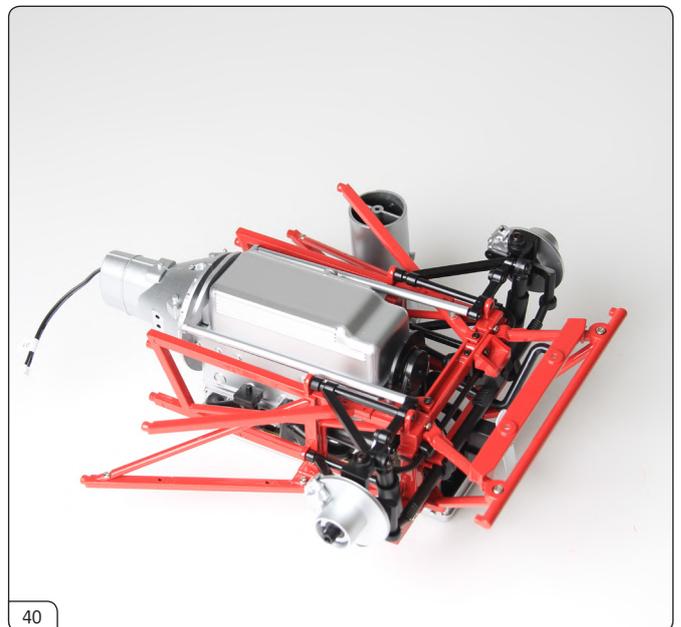
ラジエターホースをサブフレーム前面から通します。



ラジエターホースの一端を、ウォーターポンプ先端の突起に差し込みます (青丸印)。



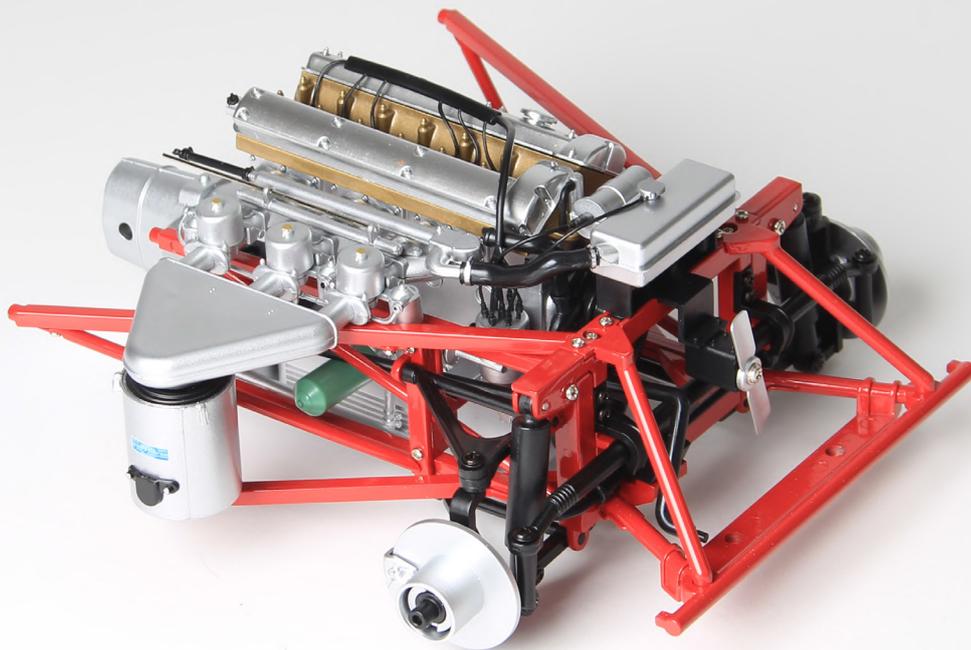
サブフレームを裏返して、ステージ②⑨で組み立てたサンプの突起をエンジンブロックの穴 (青丸印) に合わせます。



サンプをしっかりと押し込みます。サンプはバッテリーにアクセスできるように、プッシュフィット式のアタッチメントとなっています。

ステージ③2ステアリングシステム・エンジン装着

ステージ③2の完了



ステージ③ラジエター

ラジエターを組み立て、サブフレームに取り付けます。



ステージ③パーツリスト

名称
ラジエター前面
ラジエター背面
カウル
ホース
ネジAG04×5
ネジAG06×3

ラジエター前面



カウル



ラジエター背面



ホース



ネジAG04×5

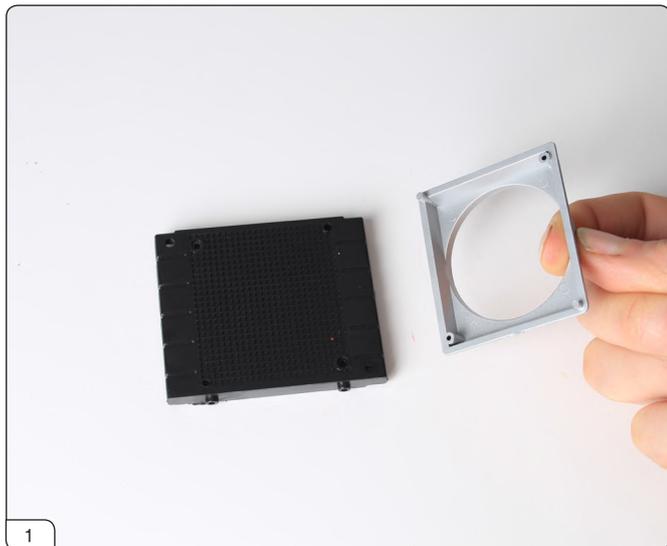


ネジAG06×3



ステージ③③ラジエター

STEP 1



対角線上にあるカウルの2本の突起を、同じく対角線上にあるラジエター前面の穴と合わせます。



2つのパーツをしっかりと押し込みます。



組み合わせたラジエターを裏返し、カウルをAG04のネジ2本でラジエターに固定します。片側に2つの突起があります(赤矢印)。



ラジエター背面の2つの穴を、組み合わせたラジエターパーツの穴と合わせます(青丸印)。取り付けの向きは1つしかありません。合わない場合は、ラジエターを180°回転させてください。

ステージ③ラジエター



AG04のネジ2本で、ラジエター背面を固定します。



カウルを表に戻して、ホースの突起をラジエター前面の隅にある穴に押し込みます。

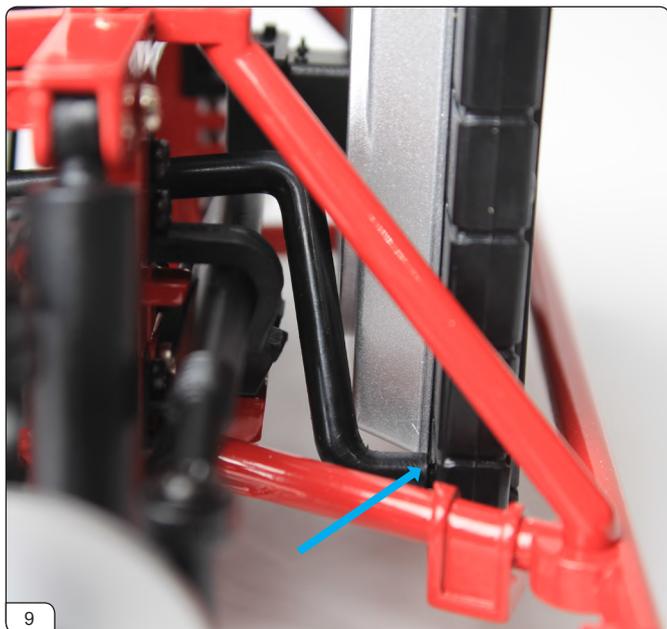


ホースは写真の方向を向いています。

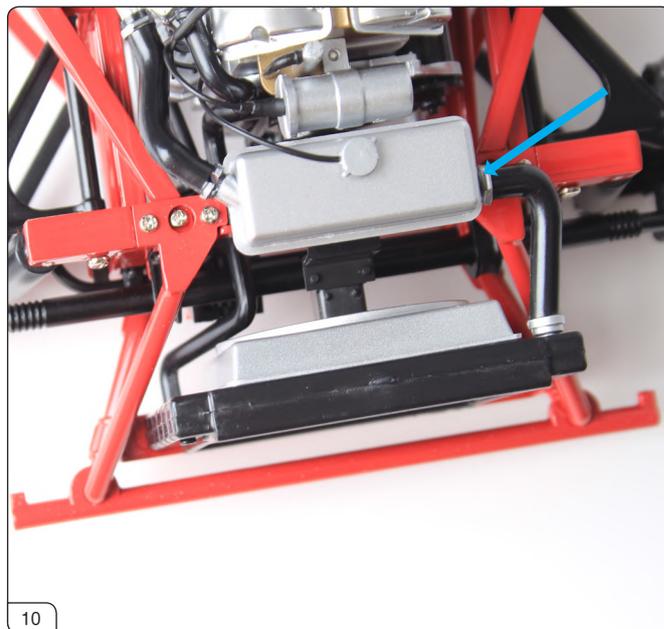


組み立てたラジエターの下部にある2つの突起を、フロントサブフレームベースのボトムバーの2つの穴(青丸印)に合わせます。

ステージ③③ ラジエター



ウォーターポンプから出ているラジエターホースを、ラジエター背面の穴 (青矢印) にはめ込みます。



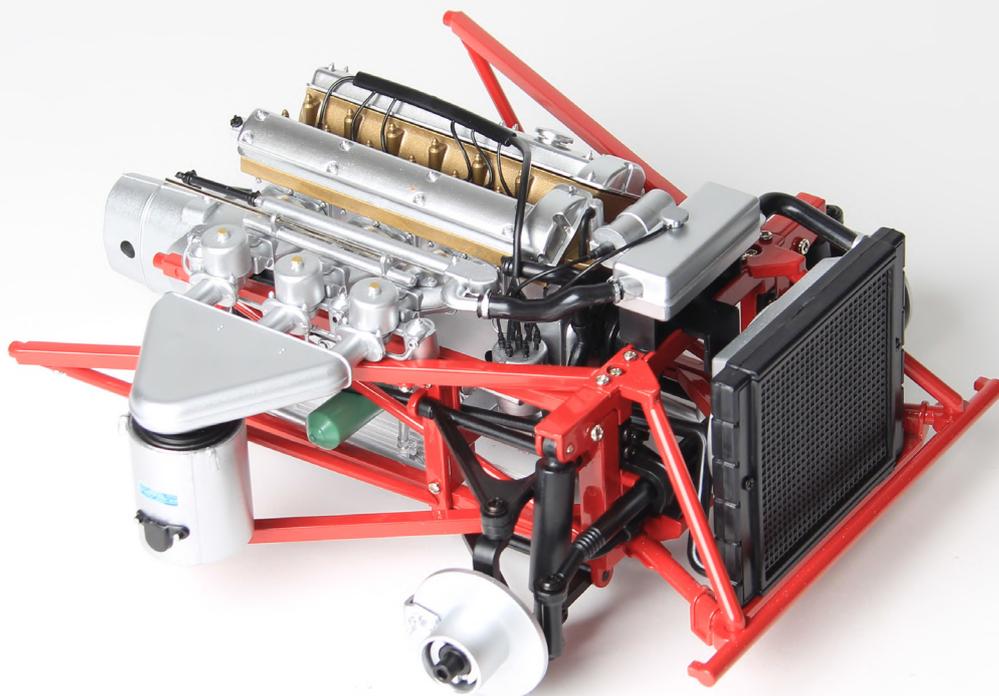
ラジエターに取り付けたホースを、ラジエターヘッダータンクの側面の突起 (青矢印) にはめ込みます。



AG06のネジ2本で、下側からラジエターを固定します。

ステージ③ラジエター

ステージ③の完了



ステージ③④フロントバルクヘッド1

フロントバルクヘッドを開梱します。ステージ③⑤とステージ③⑥で、さまざまなパーツを取り付けていきます。



STAGE③④パーツリスト

名称
フロントバルクヘッド



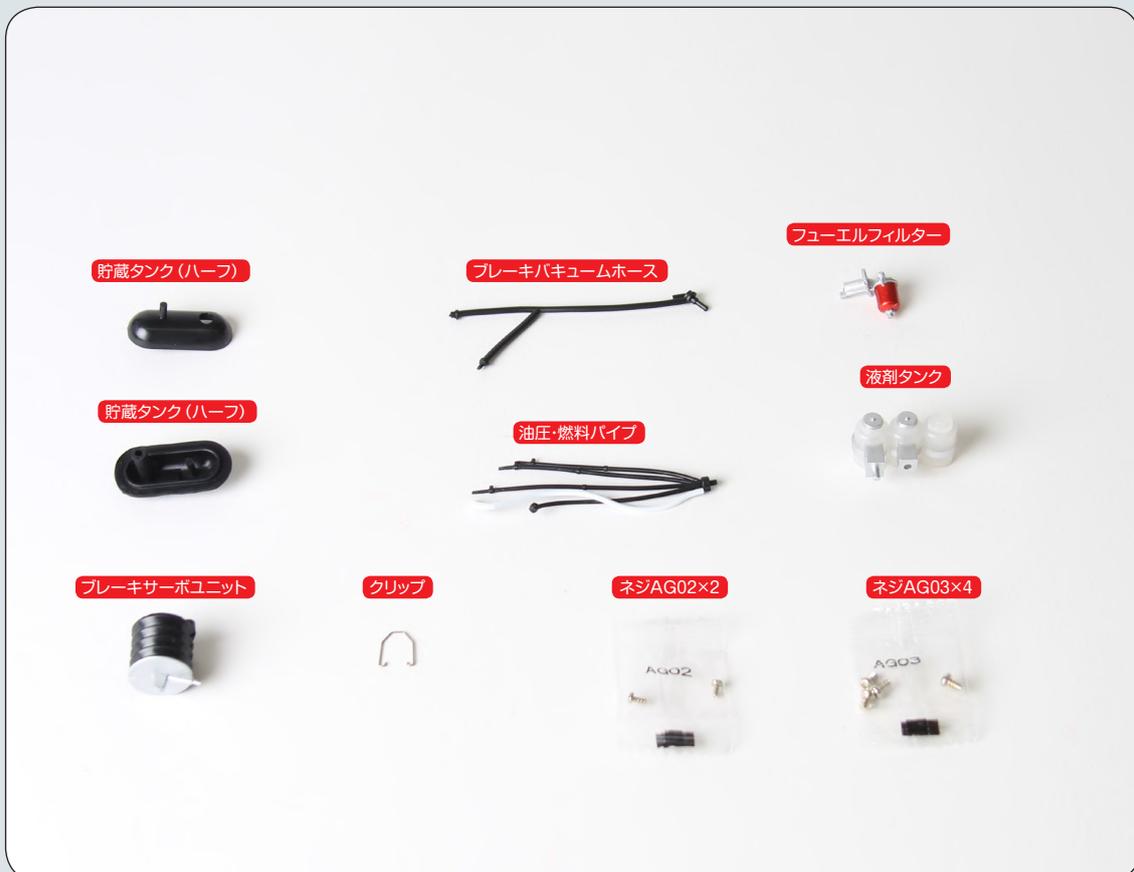
ステージ③⑤フロントバルクヘッド2

ステージ③④で開梱したフロントバルクヘッドにさまざまパーツを取り付けていきます。ステージ③⑦まで、フロントバルクヘッド周辺の組立作業が続きます。



STAGE③⑤パーツリスト

名称
貯蔵タンク (ハーフ)
ブレーキバキュームホース
フューエルフィルター
貯蔵タンク (ハーフ)
油圧・燃料パイプ
液剤タンク
ブレーキサーボユニット
クリップ
ネジAG02×2
ネジAG03×4



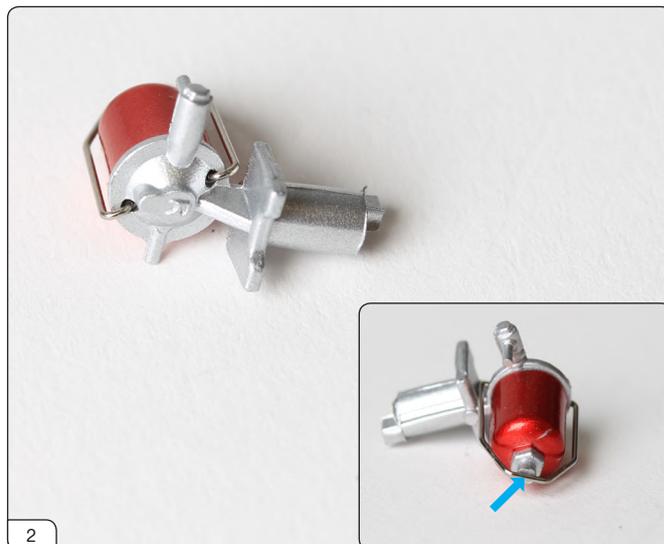
ステージ③5フロントバルクヘッド2

STEP1

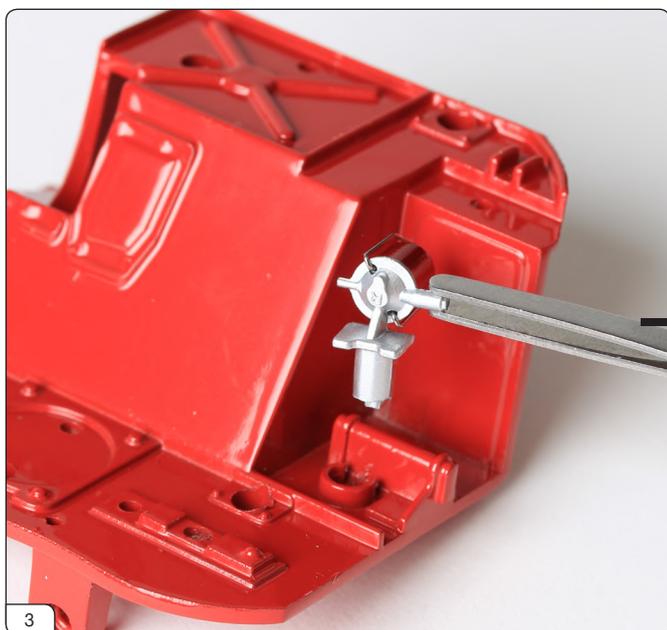


フューエルフィルターの取り付け

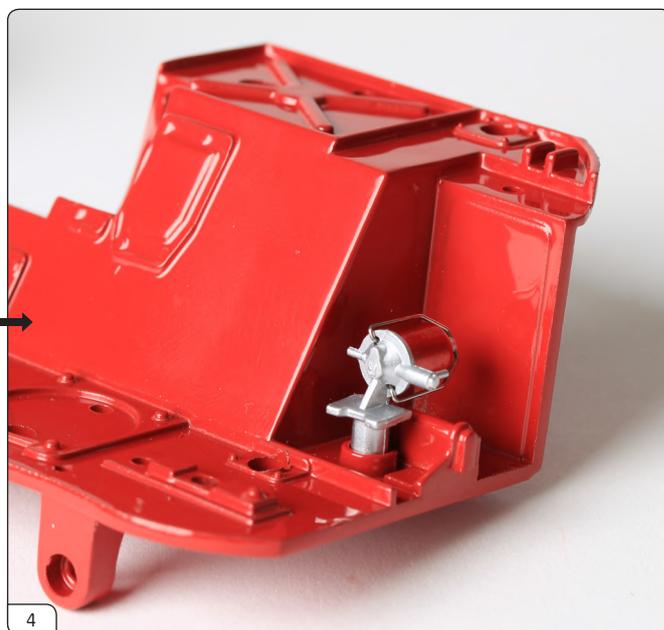
フューエルフィルター底部の2つの穴（青矢印）に、クリップの曲がった端を取り付けます。



クリップを取り付けた状態です。クリップの中央部分を、右下小写真のようにフューエルフィルターの頭にフィットさせます。必要に応じて瞬間接着剤を少量塗布して固定してください。

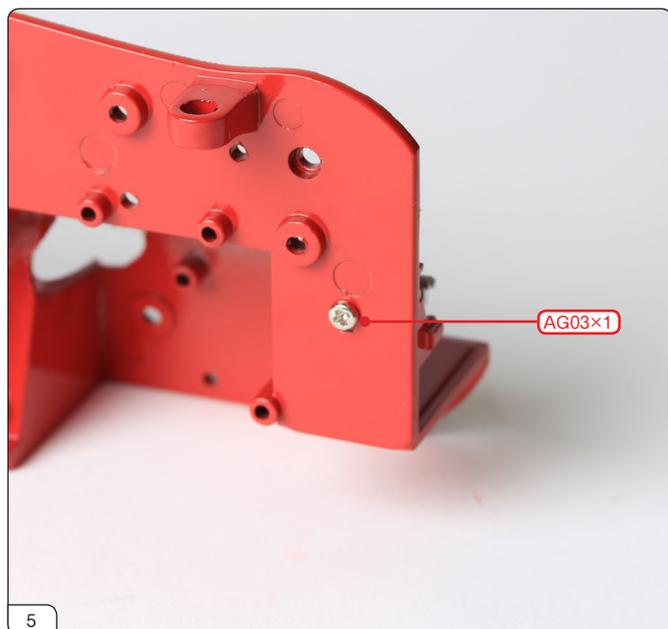


フューエルフィルターの突起を、フロントバルクヘッドに差し込みます。



フューエルフィルターをしっかりと押し込みます。

ステージ③5 フロントバルクヘッド2



裏側からAG03のネジで固定します。

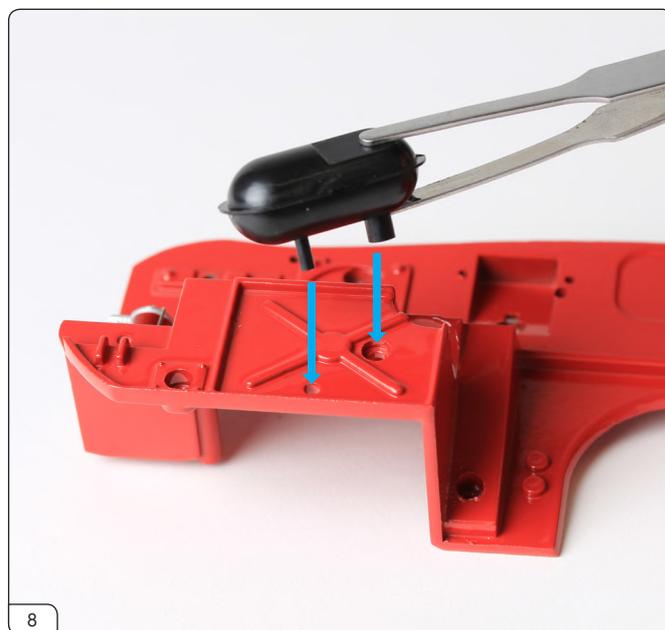


貯蔵タンクと液剤タンクの取り付け

2つに分割された貯蔵タンクの穴と突起を合わせます。



貯蔵タンクをしっかりとめ込みます。



貯蔵タンクの2本の突起を、写真のようにフロントバルクヘッドに合わせます。

ステージ③5 フロントバルクヘッド2



貯蔵タンクをしっかりと押し込みます。



裏側からAG03のネジで固定します。

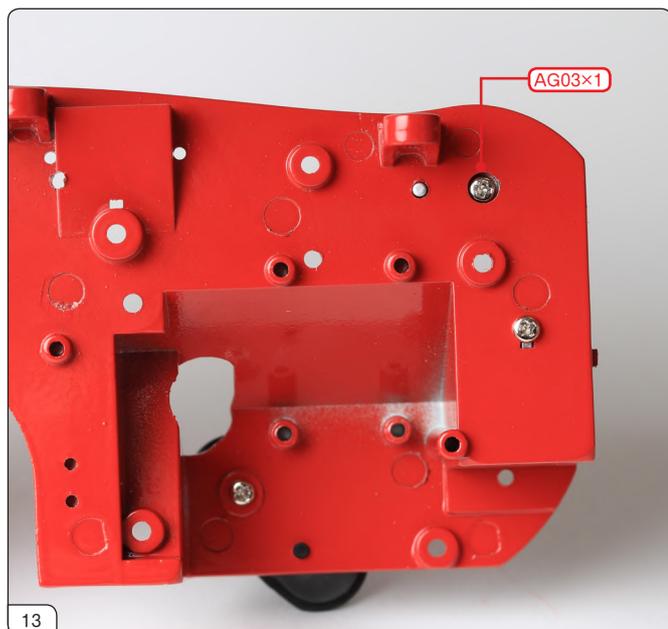


液剤タンク裏面の突起を、フロントバルクヘッドの取り付け穴に合わせます。

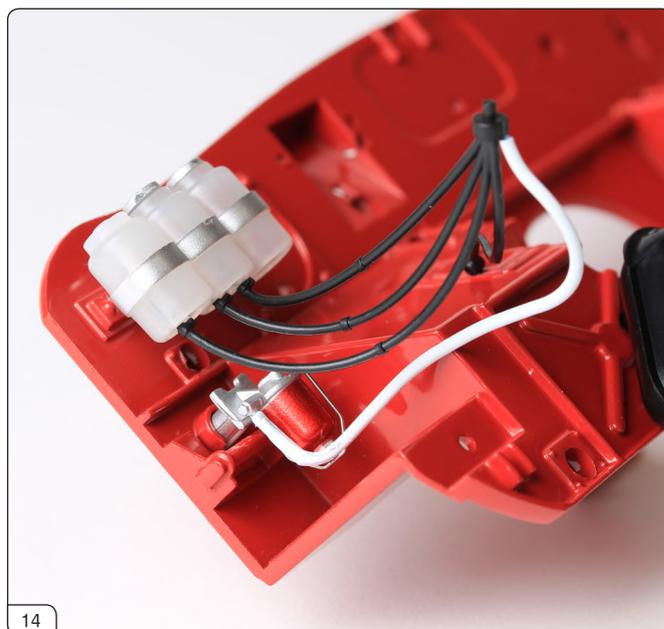


液剤タンクをしっかりと押し込みます。

ステージ35 フロントバルクヘッド2

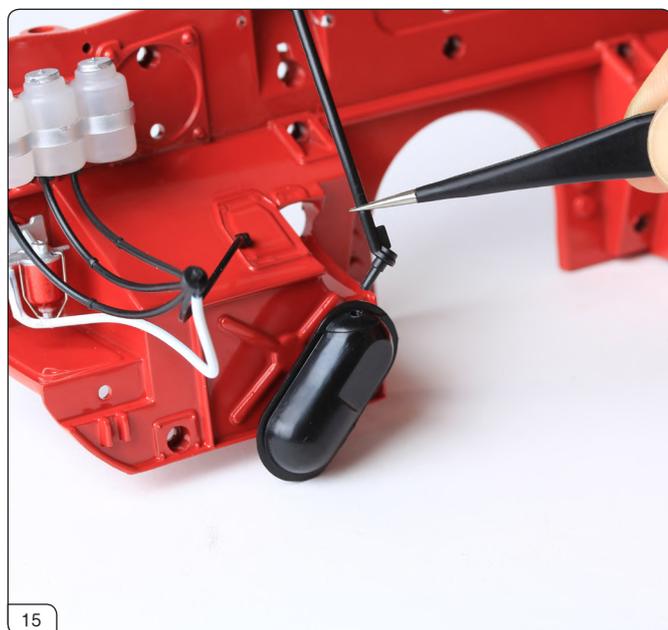


裏側からAG03のネジで固定します。

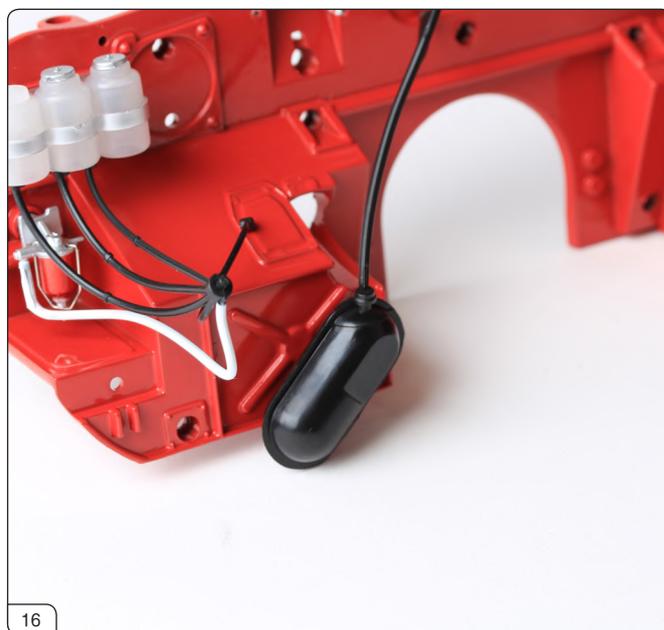


油圧・燃料パイプの配管

油圧・燃料パイプを接続します。もっとも長い黒パイプを一番外側の液剤タンク、2番目の黒いパイプを中央の液剤タンク、3番目の黒いパイプも中央の液剤タンクに差し込みます。最後に白いパイプは、フューエルフィルターの左側の突起にはめ込みます。

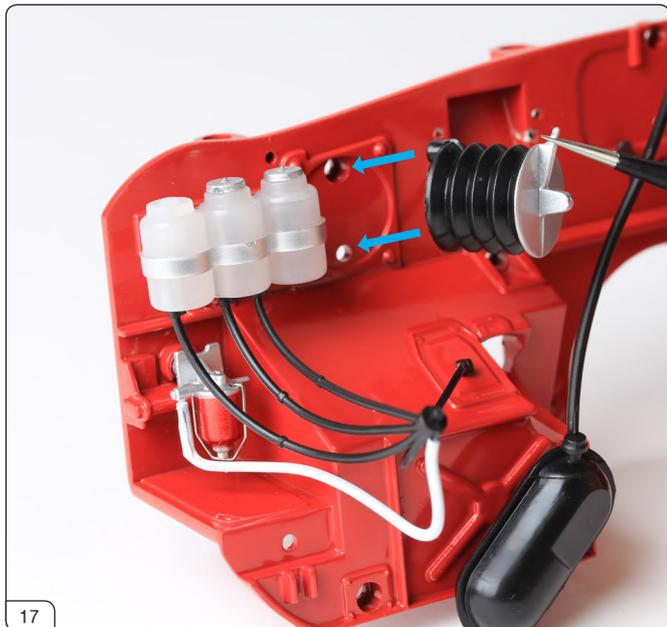


ブレーキバキュームホースの先を貯蔵タンクの穴に差し込みます。



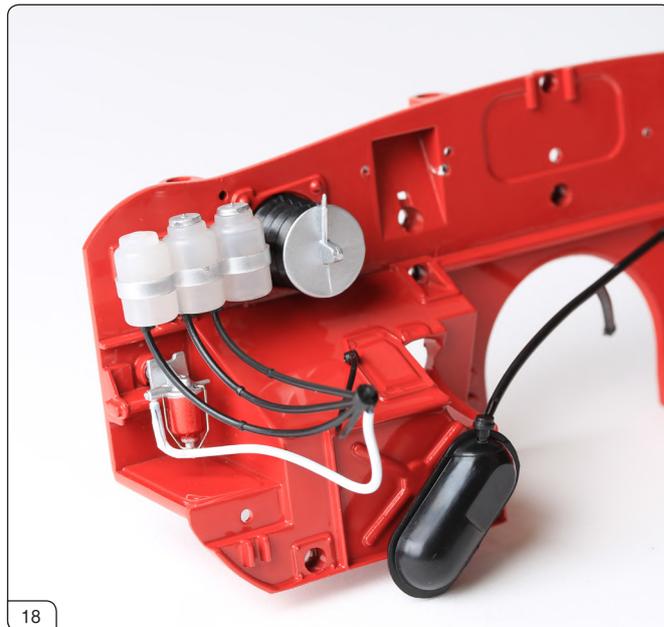
ブレーキバキュームホースが取り付けられた状態です。

ステージ35 フロントバルクヘッド2

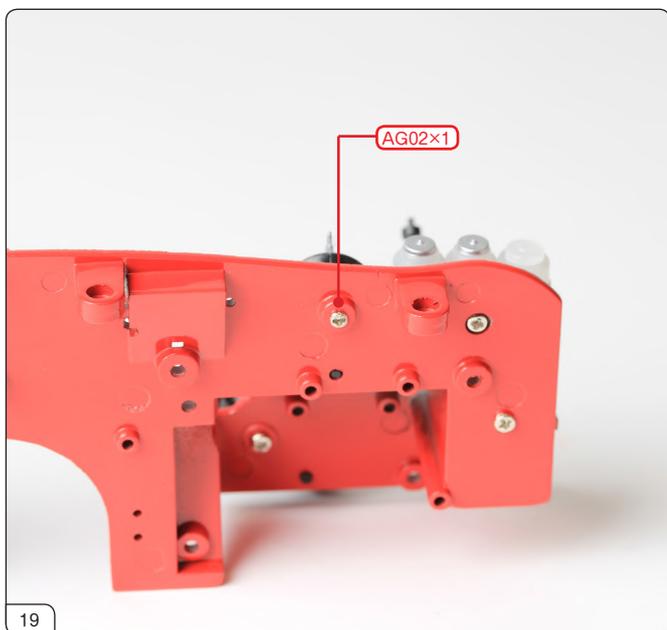


ブレーキサーボユニットの取り付け

ブレーキサーボユニットを液剤タンクの横に取り付けます。



突起を上にして、ブレーキサーボユニットをフロントバルクヘッドに押し込みます。

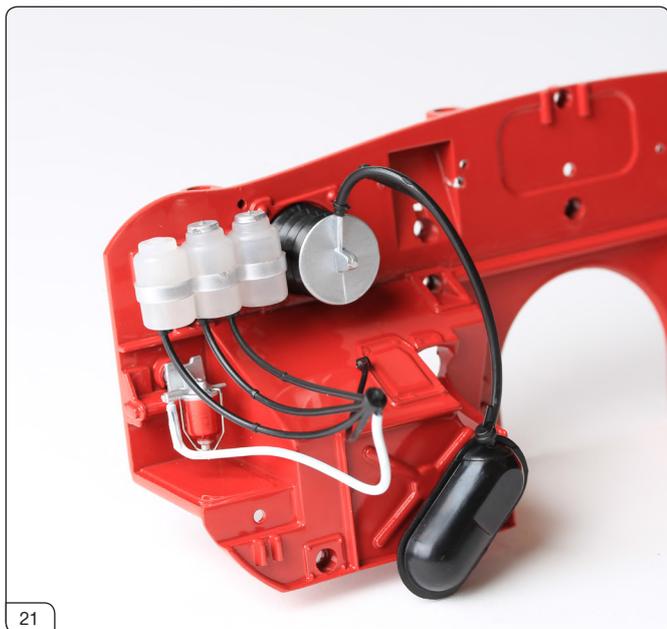


裏側からAG02のネジで固定します。



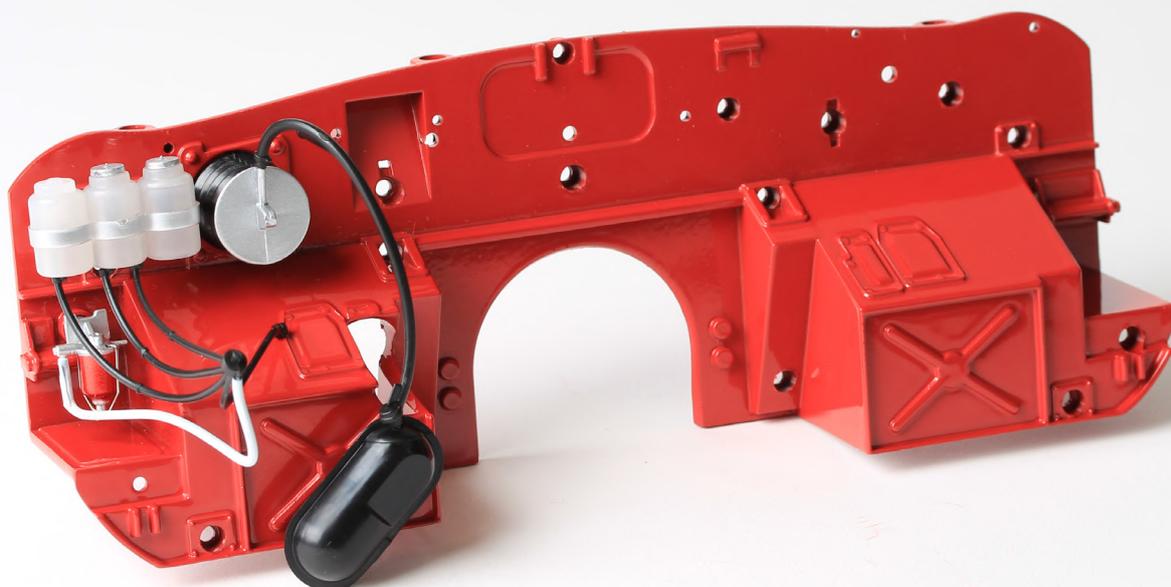
二股になったブレーキバキュームホースの端を、ブレーキサーボユニットの突起に差し込みます。

ステージ③5フロントバルクヘッド2



フューエルフィルター、液剤タンク、貯蔵タンク、ブレーキサーボユニットが取り付けられた状態です。

ステージ③5の完了



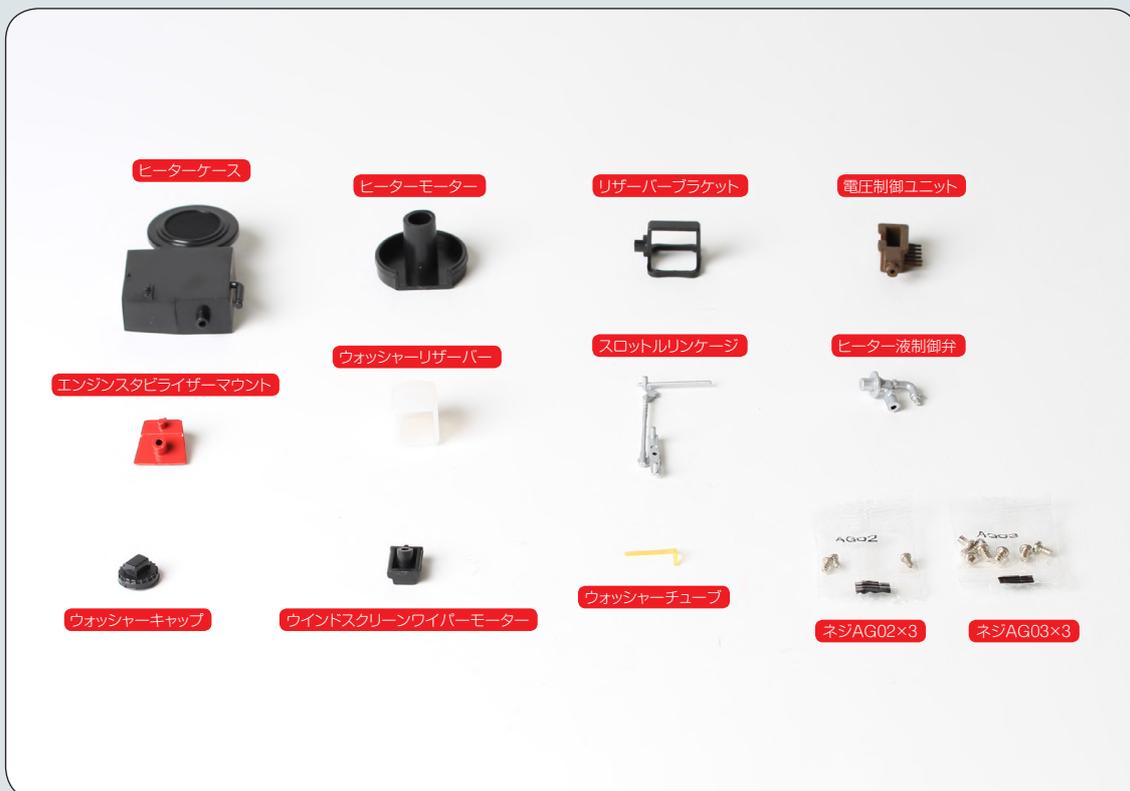
ステージ36 フロントバルクヘッド3

ステージ36でもフロントバルクヘッドに
さまざまパーツを取り付けていきます。



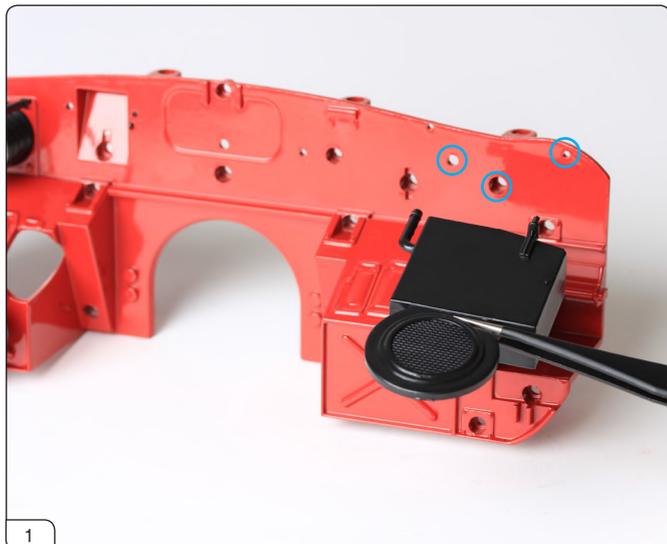
ステージ36 パーツリスト

名称
ヒーターケース
ヒーターモーター
リザーバーブラケット
電圧制御ユニット
エンジンスタビライザーマウント
ウォッシャーリザーバー
スロットルリンケージ
ヒーター液制御弁
ウォッシャーキャップ
ウインドスクリーンワイパーモーター
ウォッシャーチューブ
ネジAG02×3
ネジAG03×3



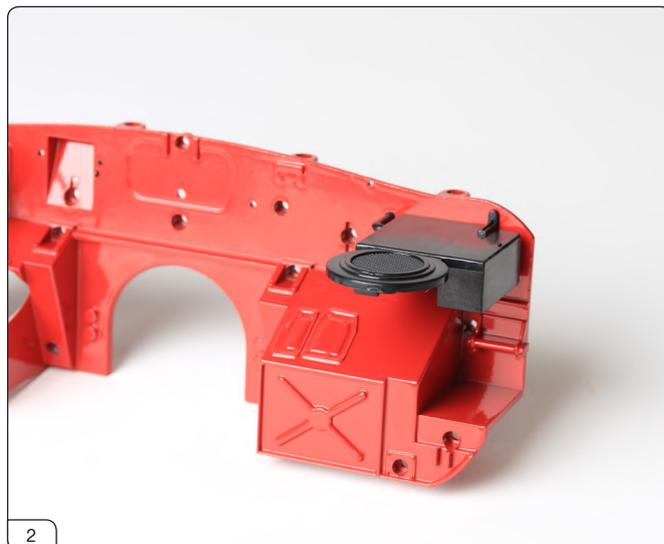
ステージ③6 フロントバルクヘッド3

STEP 1

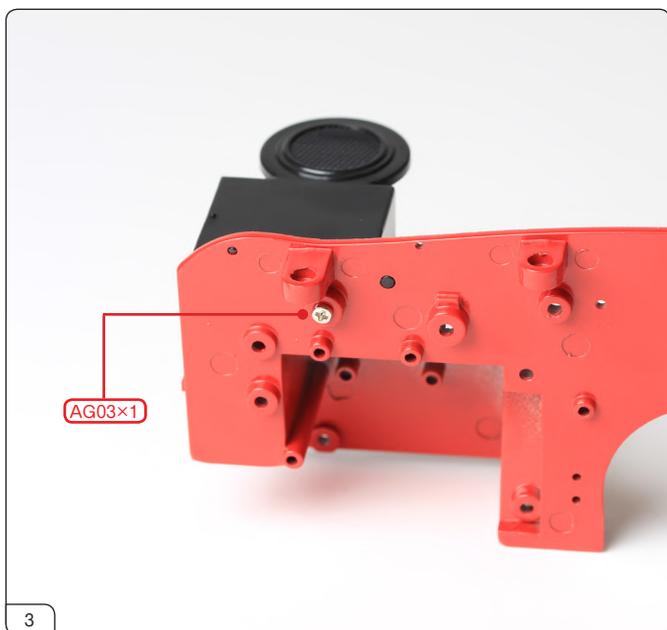


ヒーターモーターの取り付け

ヒーターケースの3つの突起を、フロントバルクヘッドの穴（青丸印）に合わせます。



ヒーターケースをしっかりと押し込みます。

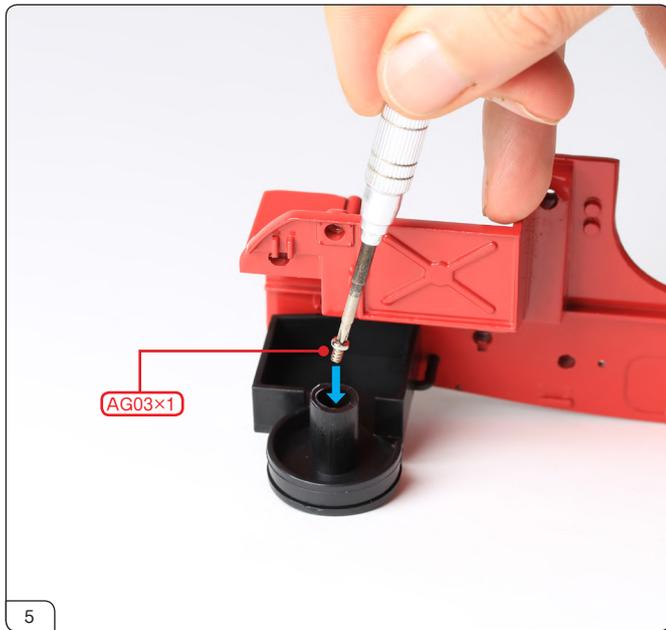


裏側からヒーターケースをAG03のネジで固定します。

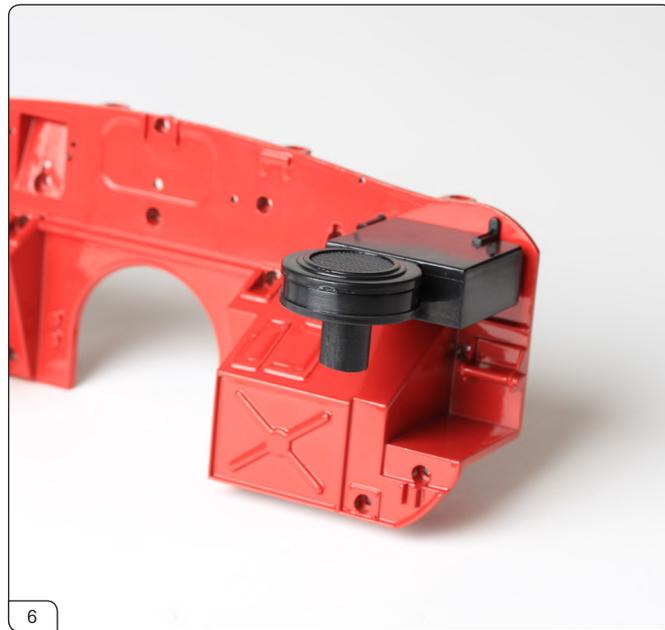


ヒーターモーターを写真の向きに配置します。

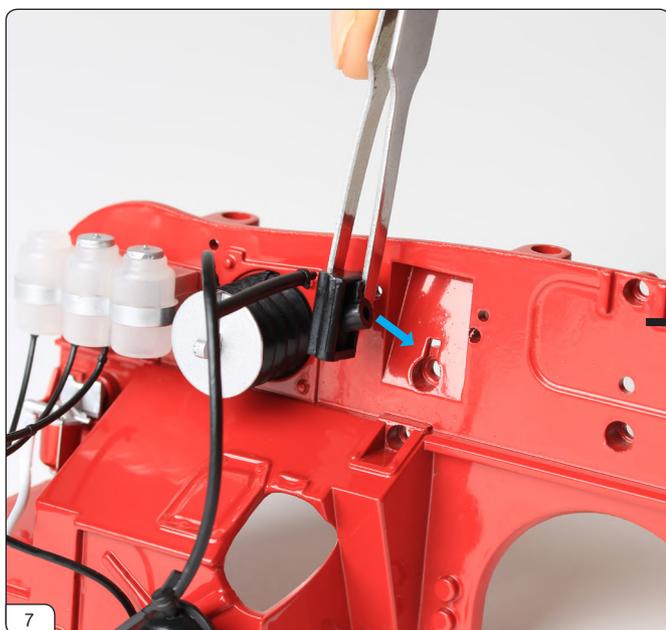
ステージ③6 フロントバルクヘッド3



ヒーターモーターをヒーターケースに押し込んで、下からAG03のネジで固定します。

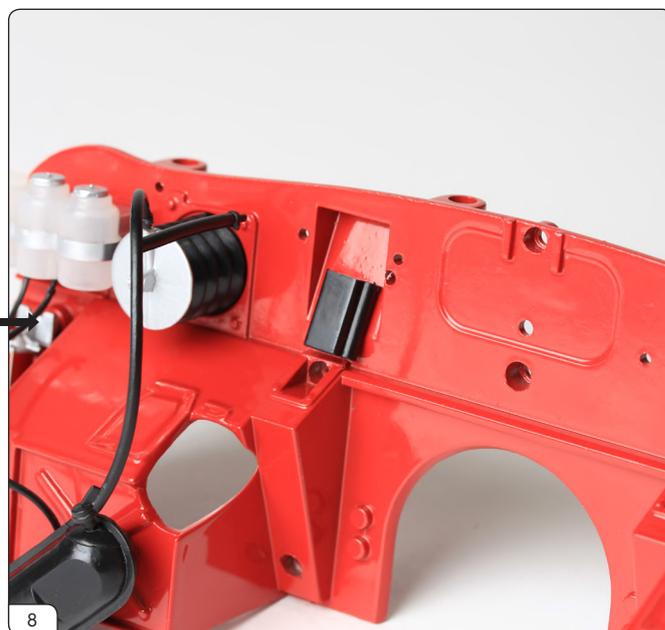


フロントバルクヘッドにヒーターモーターが取り付けられた状態です。



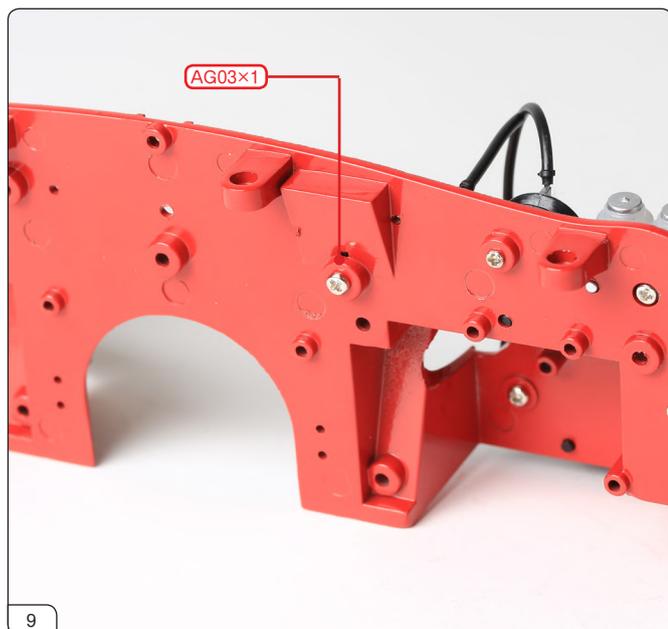
ワイパーモーターの取り付け

ウインドスクリーンワイパーモーターにある鍵状の突起を、フロントバルクヘッドの鍵穴状の溝に合わせます。

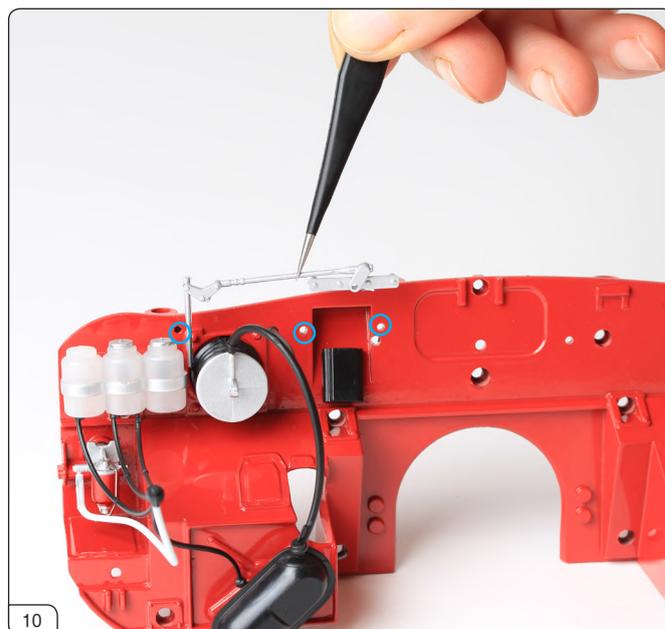


ウインドスクリーンワイパーモーターをしっかりと押し込みます。

ステージ③6 フロントバルクヘッド3



裏側からウインドスクリーンワイパーモーターを、AG03のネジで固定します。



スロットルリンケージの取り付け

スロットルリンケージの3つの突起を、フロントバルクヘッドの穴(青丸印)に合わせます。



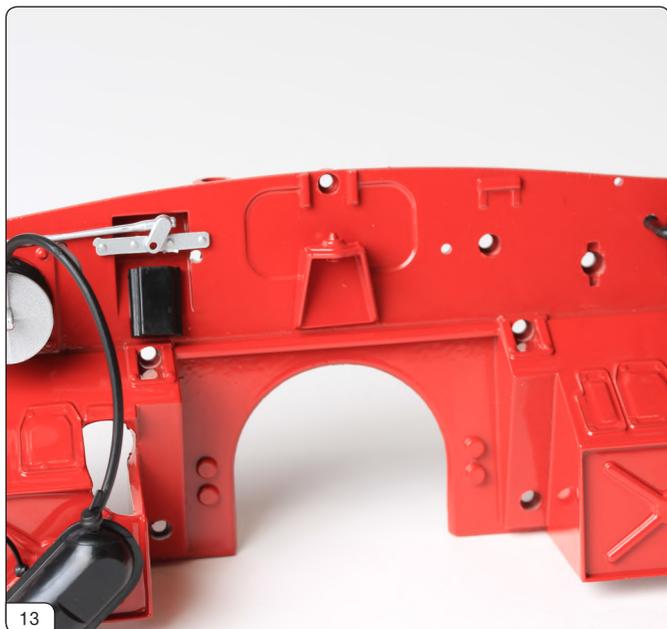
スロットルリンケージをしっかりと押し込みます。



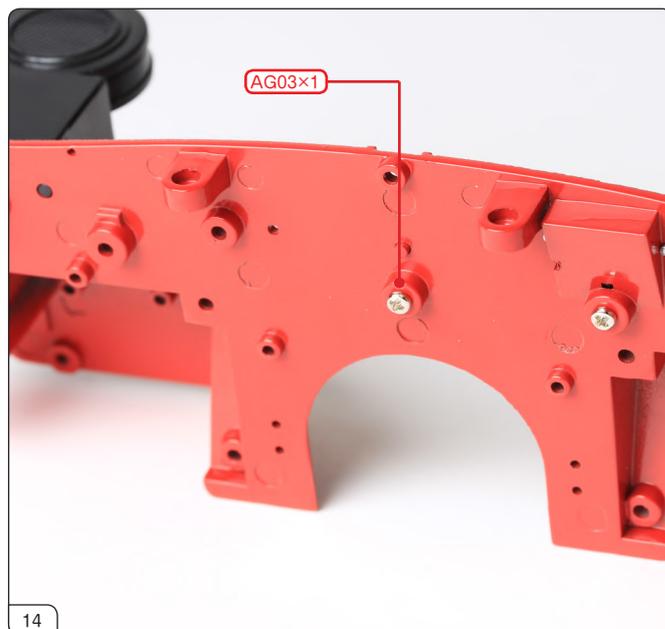
エンジンスタビライザーマウントの取り付け

エンジンスタビライザーマウントの2本の突起を、フロントバルクヘッドの2つの穴(青丸印)に合わせます。

ステージ③6 フロントバルクヘッド3



エンジンスタビライザーマウントをしっかりと押し込みます。



裏側からAG03ネジで固定します。



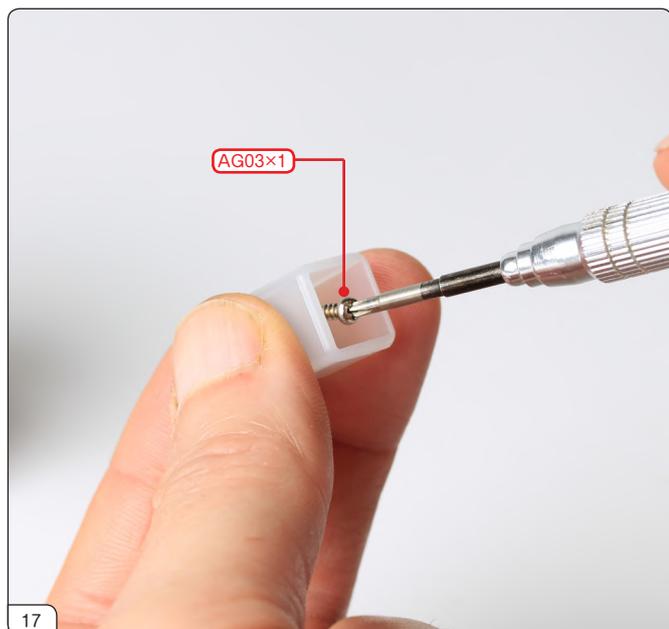
ウォッシャーリザーバーの取り付け

ウォッシャーキャップの鍵穴の突起を、ウォッシャーリザーバーの上部に合わせます。

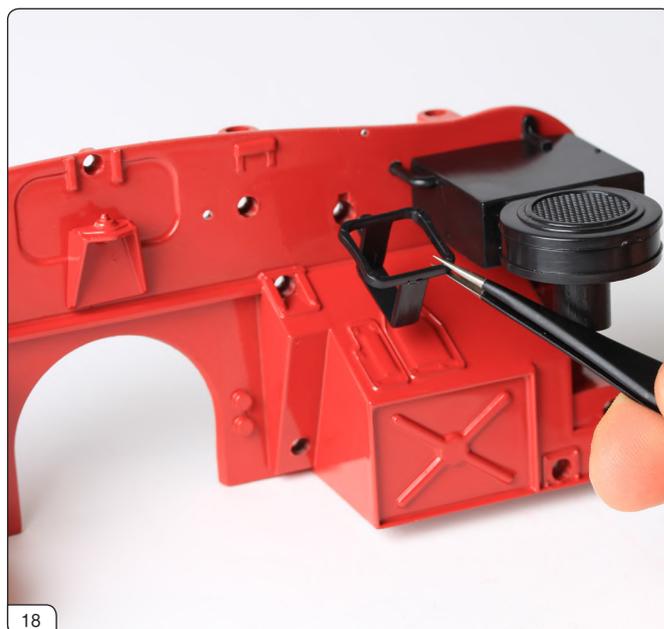


ウォッシャーキャップをしっかりと押し込みます。

ステージ③6 フロントバルクヘッド3



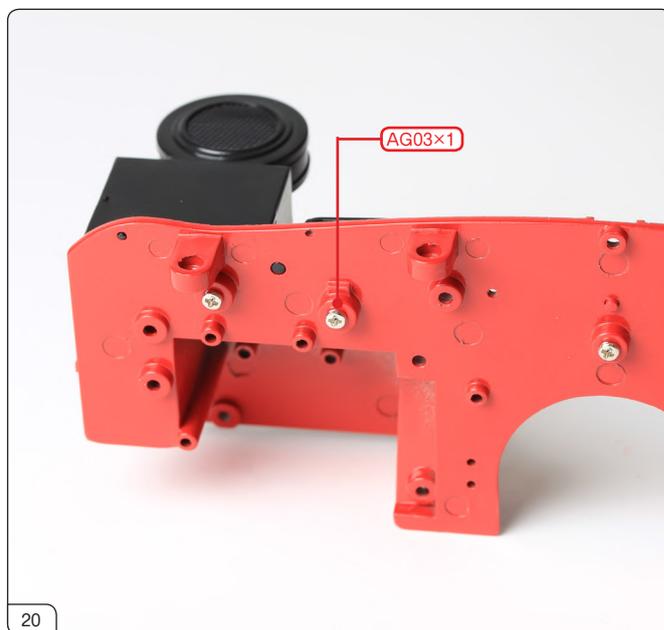
裏側からAG03のネジで固定します。



リザーバーブラケットを写真のとおりフロントバルクヘッドの穴に合わせます。



リザーバーブラケットをしっかり押し込みます。



裏側からAG03のネジで固定します。

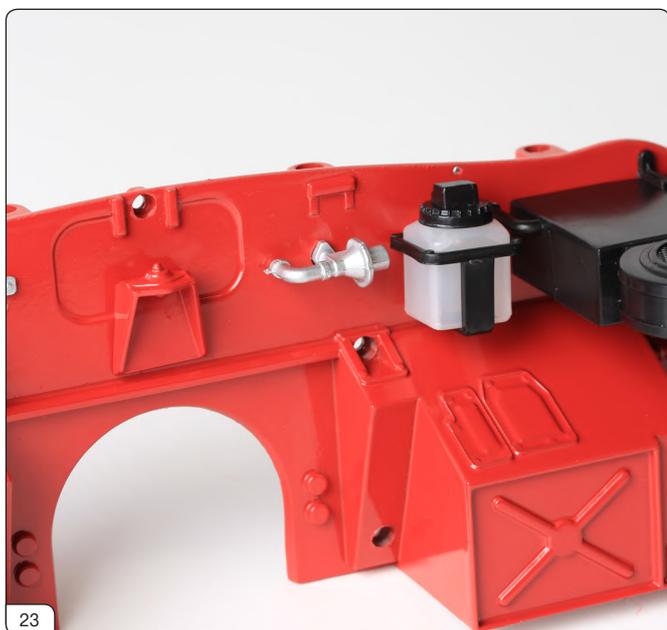
ステージ③6 フロントバルクヘッド3



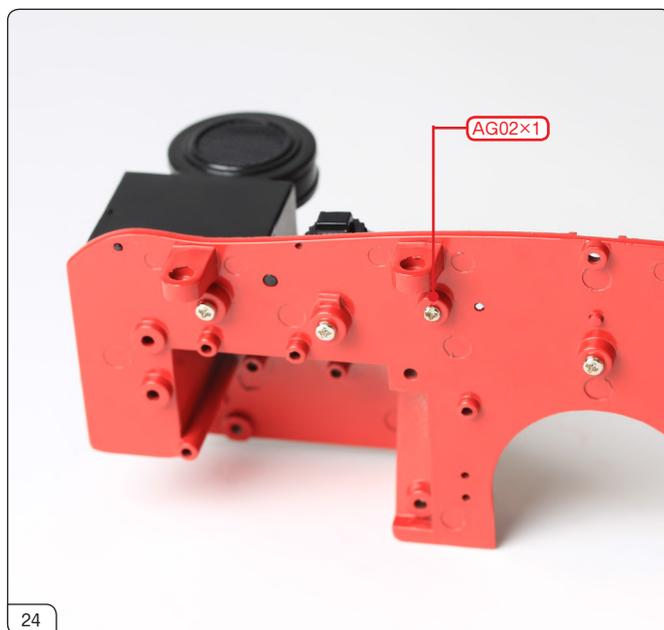
リザーバーブラケットにウォッシャーリザーバーを置きます。ウォッシャーキャップの穴が外側に向くようにをセットします(右下小写真)。



ヒーター液制御弁をウォッシャーリザーバーの横に穴に配置します。

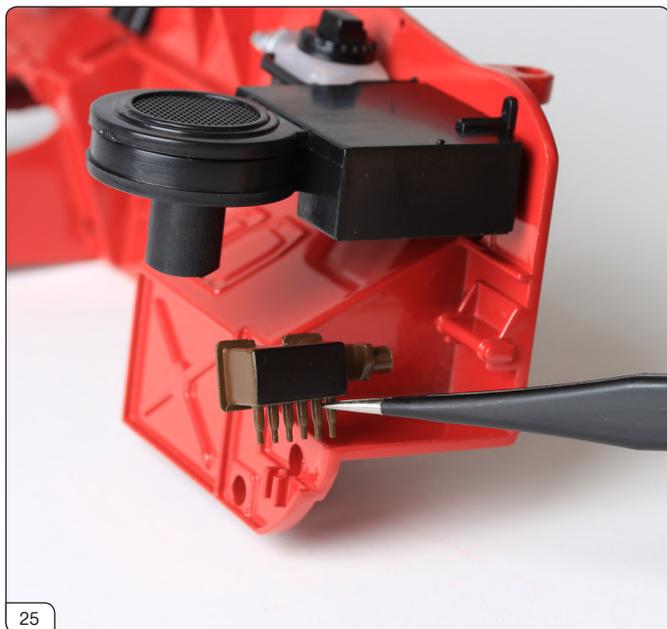


ヒーター液制御弁をしっかり押し込みます。



裏面からAG02ネジで固定します。

ステージ③6 フロントバルクヘッド3

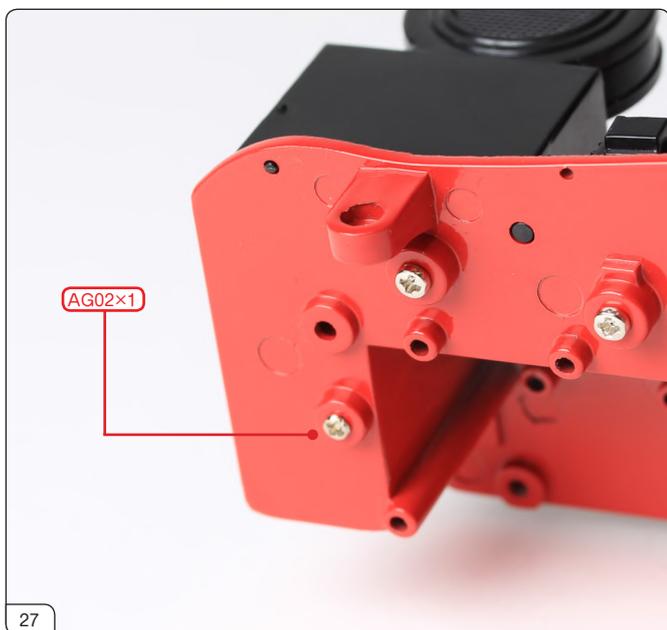


電圧制御ユニットの取り付け

電圧制御ユニットをヒーターモーターの下に配置します。



電圧制御ユニットの突起をフロントバルクヘッドに押し込みます。



裏側からAG02のネジで固定します。



ウォッシャーチューブの配管

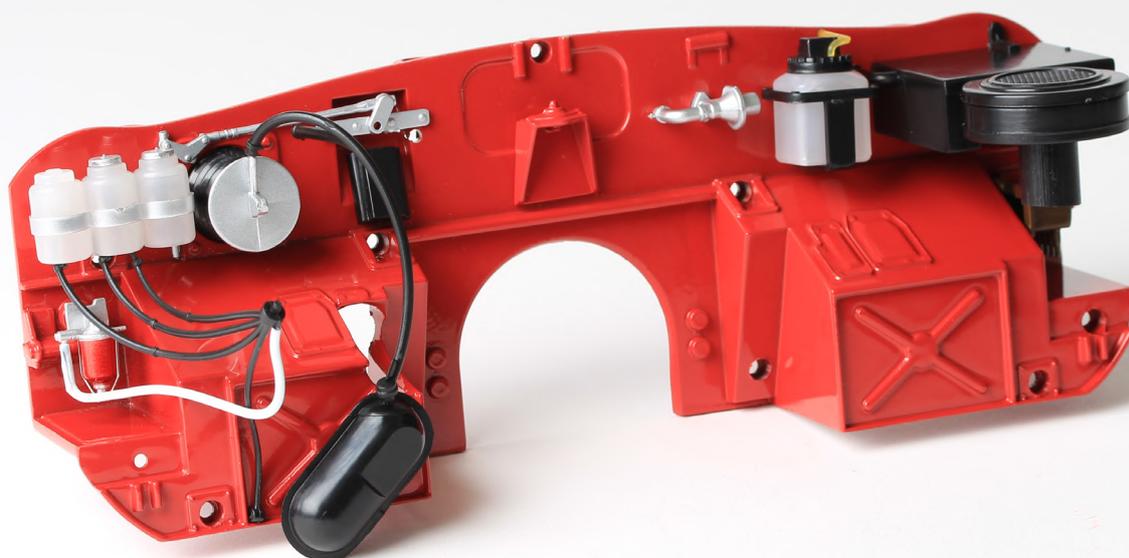
ウォッシャーチューブを写真のように配置し、ウォッシャーキャップとフロントバルクヘッドの穴(ともに青矢印)に差し込みます。

ステージ③6フロントバルクヘッド3



ウォッシャーチューブが配管された状態です。

ステージ③6の完了



ステージ③7フロントバルクヘッド4

ステージ③7でもフロントバルクヘッドにさまざまパーツを取り付けていきます。さらにフロントバルクヘッドをサブフレームに固定します。



ステージ③7パーツリスト

名称
左マッドシールド
右マッドシールド
バッテリー
ギヤボックスマウント×2
バッテリーリード
ネジAG02×2
ネジAM18×5
ネジAM15×9
ネジAG03×8



ステージ③7 フロントバルクヘッド4

STEP 1

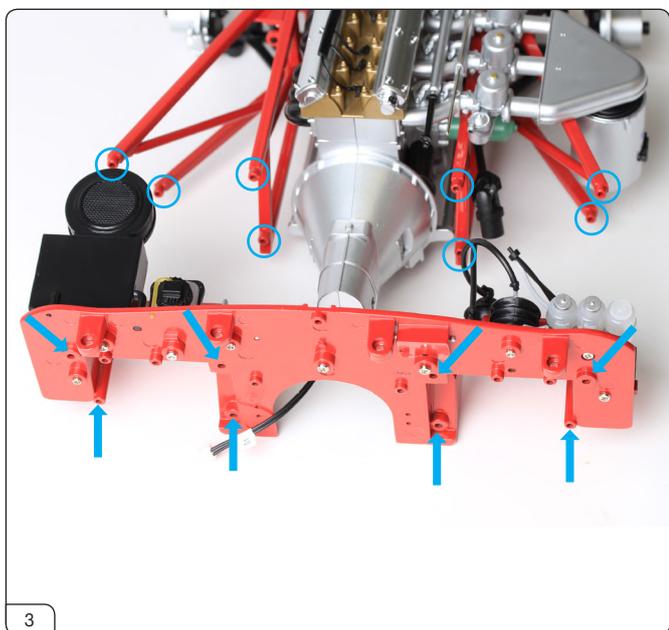


油圧・燃料パイプの配管

油圧・燃料パイプのうち1本だけフリーとなっていた黒いパイプを、フューエルフィルターの内側の突起に差し込みます。



フリーとなっていた黒いパイプが接続された状態です。



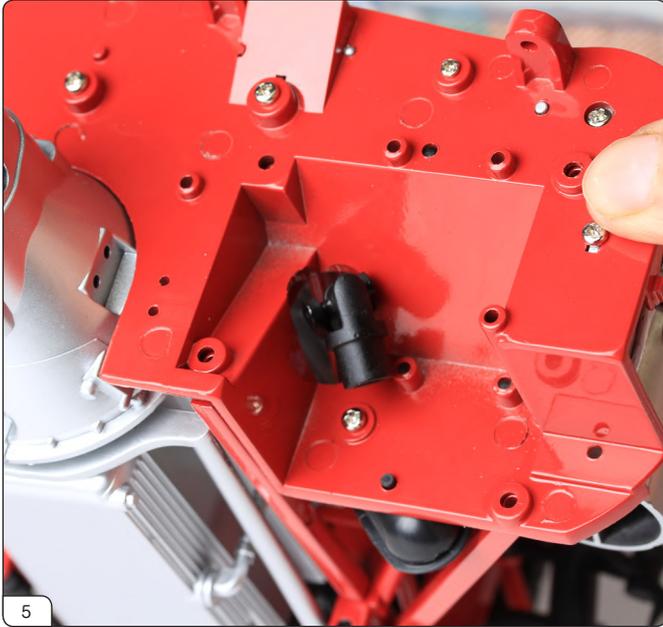
フロントバルクヘッドの取り付け

フロントバルクヘッドをサブフレームに固定します。サブフレームの青丸印8カ所と、フロントバルクヘッドの青矢印8カ所が取り付けの固定ポイントとなります。

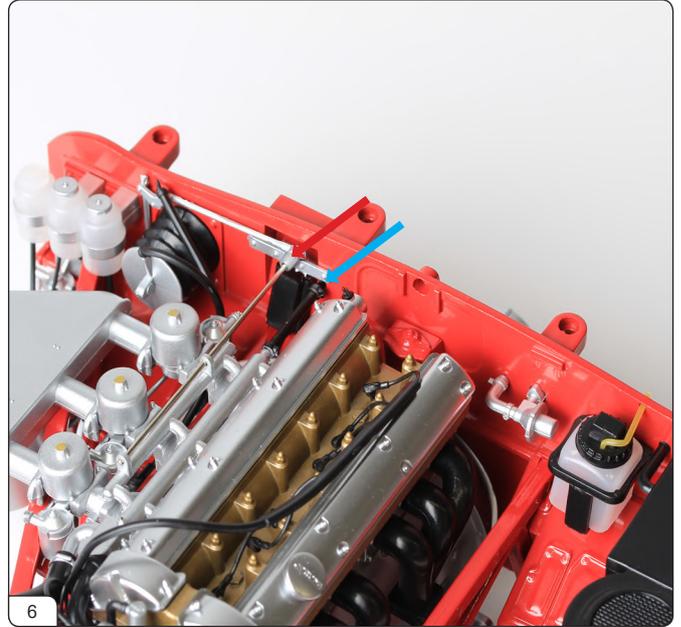


フロントバルクヘッドをサブフレームに合わせます。配管などを挟まないように注意してください。

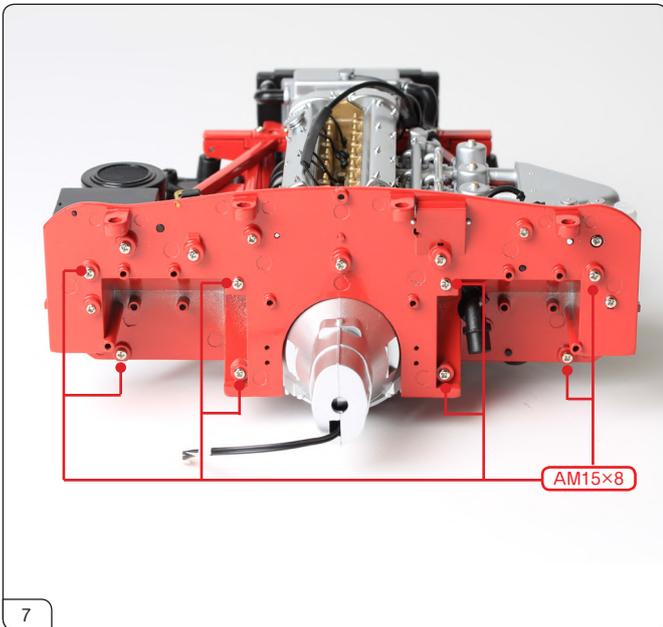
ステージ③7 フロントバルクヘッド4



フロントバルクヘッドの左下開口部には、ステアリングコラムを収めます。



ピンセットを使って、ステージ②で取り付けしたスロットルロッド (シャフト) の端をスロットルリンクエッジの穴にはめ込みます (赤矢印)。さらにエンジンから出ているホースの端を、フロントバルクヘッドの穴にはめ込みます (青矢印)。



AM15のネジ8本で、フロントバルクヘッドをサブフレームに固定します



バッテリーと左マッドシールドの取り付け

バッテリーのバッテリーリードを写真のようにバッテリーに差し込みます。

ステージ③7 フロントバルクヘッド4



バッテリーリードの端子をしっかりと押し込みます。



写真のようにバッテリーを左マッドシールドに合わせます。

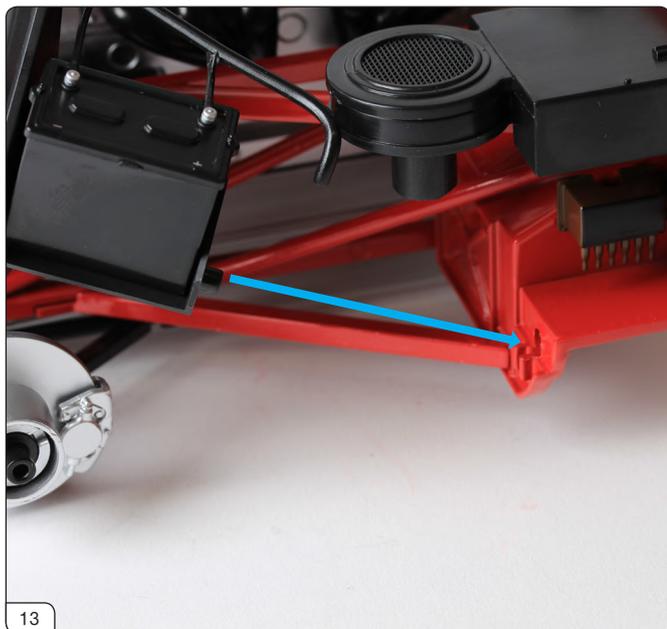


バッテリーの底にある突起を左マッドシールドの穴に押し込みます。

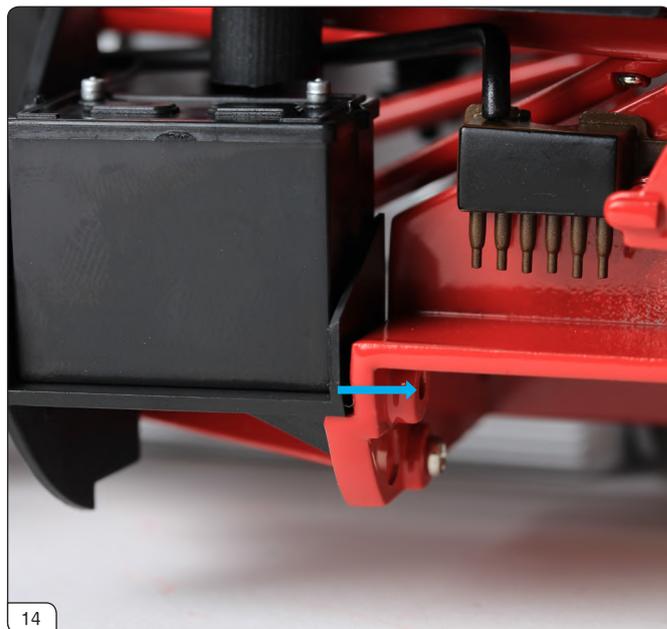


裏側からAG03のネジで固定します。

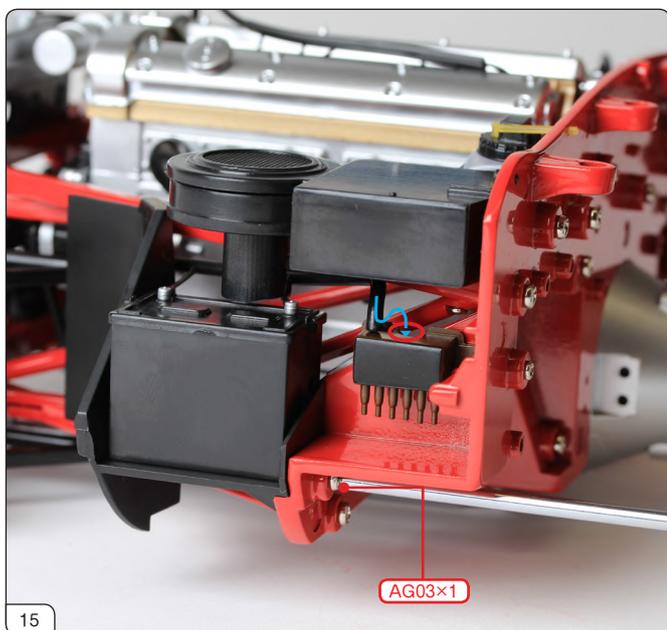
ステージ③7 フロントバルクヘッド4



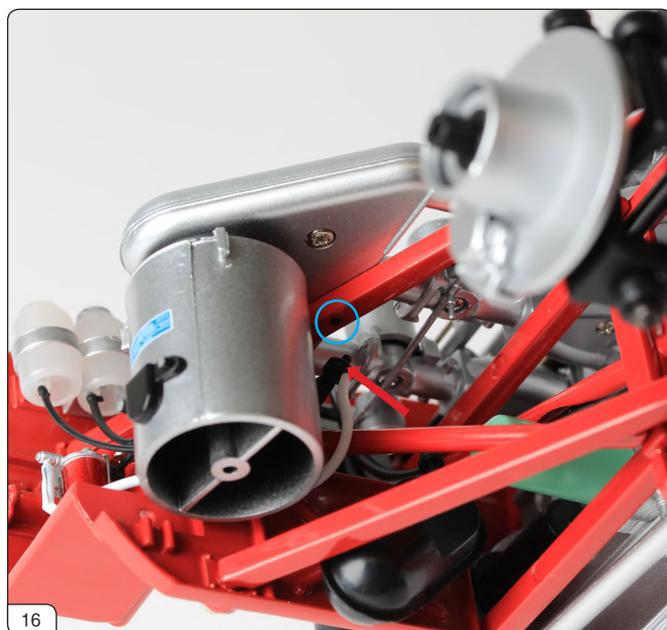
ヒーターモーター下のサブフレームに配置します。



マッドシールドの端にある突起をサブフレームの穴にはめ込みます(手順13と14の青矢印)。



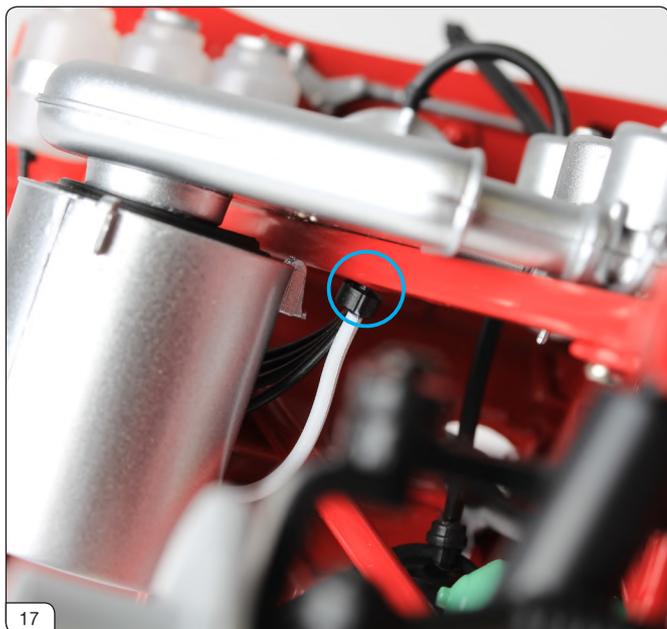
サブフレームの穴からマッドシールドをAG03のネジで固定します。このとき、バッテリーケーブルの太い端を、青矢印のように電圧制御ユニットの穴(赤丸印)に収めます。



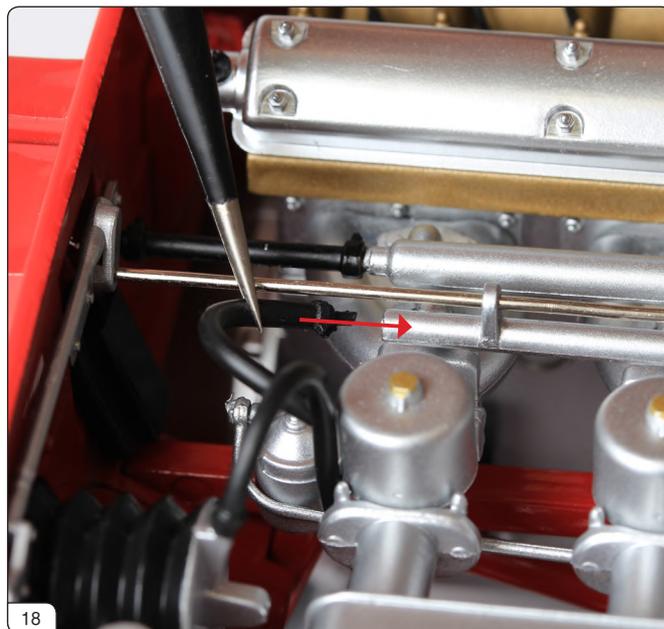
油圧・燃料パイプの仕上げと整理

油圧・燃料パイプの分岐元にある突起(赤矢印)を、サブフレームの穴(青丸印)に押し込んでください。これで油圧・燃料パイプ群が固定されます。

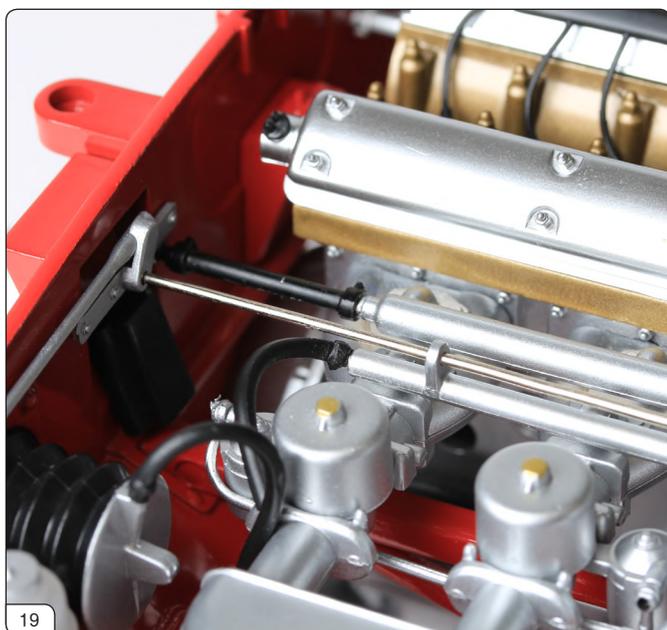
ステージ③7 フロントバルクヘッド4



分岐元にある突起をサブフレームにしっかりと押し込みます (青丸印)。



ブレーキバキュームホースでフリーになっていた黒いパイプをエアバランスパイプの先端の穴に押し込みます (赤矢印)。



ブレーキバキュームホースが取り付けられた状態です。



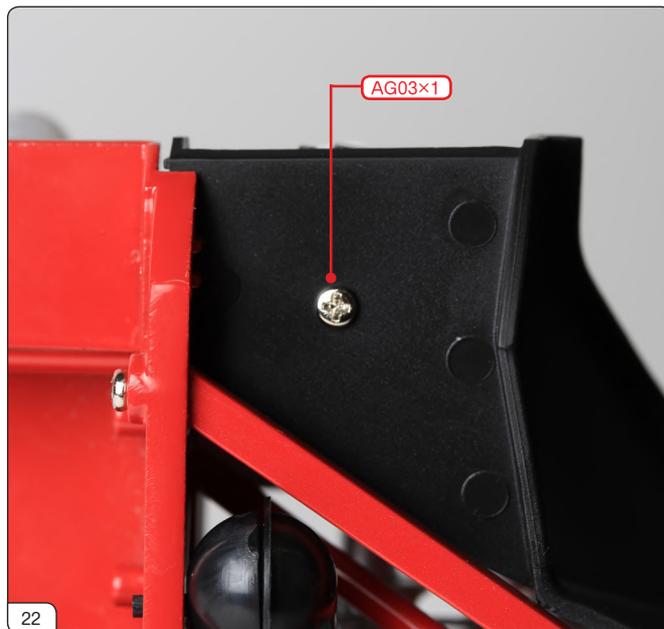
右マッドシールドの取り付け

右マッドシールドをエアフィルターの前に配置します。

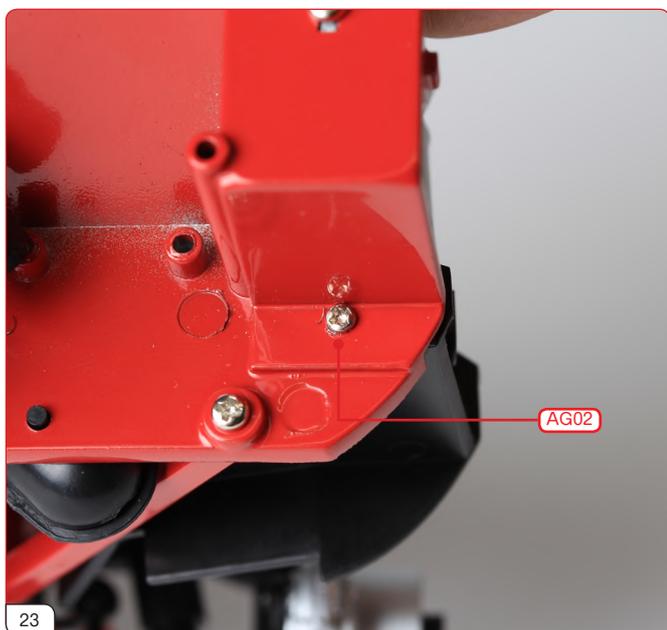
ステージ③7 フロントバルクヘッド4



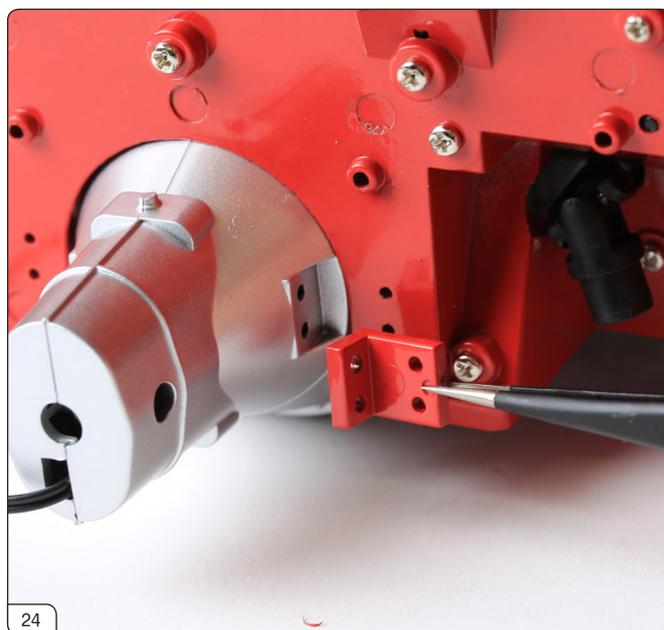
そのままスライドさせて、右マッドシールドのネジ穴をエアフィルター下部の穴に合わせます。



裏側からAG03のネジで、右マッドシールドをエアフィルターに固定します。



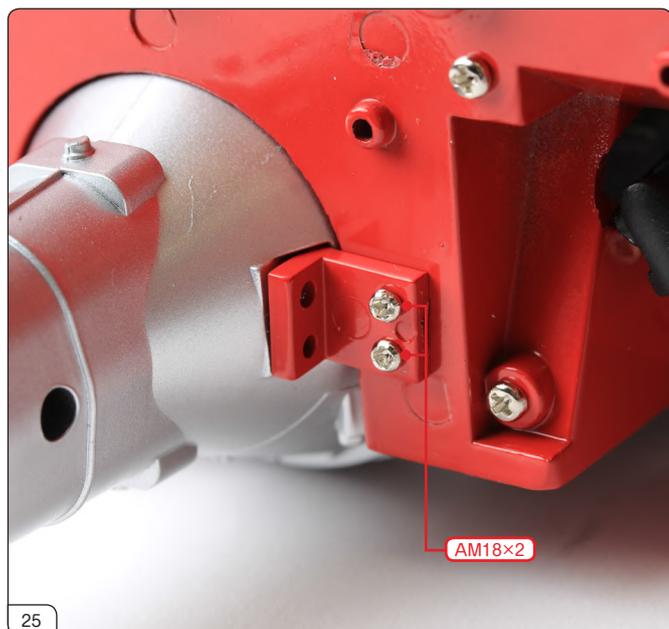
もう1カ所。右マッドシールドをAG02のネジでフロントバルクヘッドに固定します。



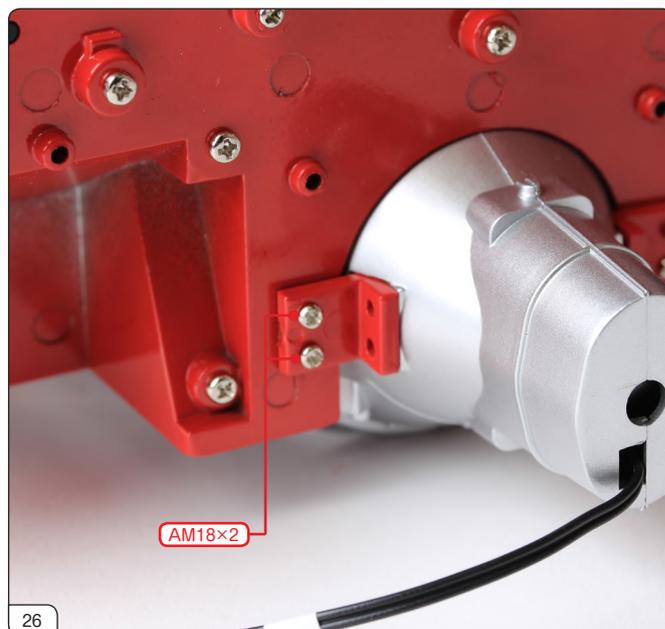
ギヤボックスマウントの取り付け

ギヤボックスマウントをギヤボックスの凹部にはめ込みます。

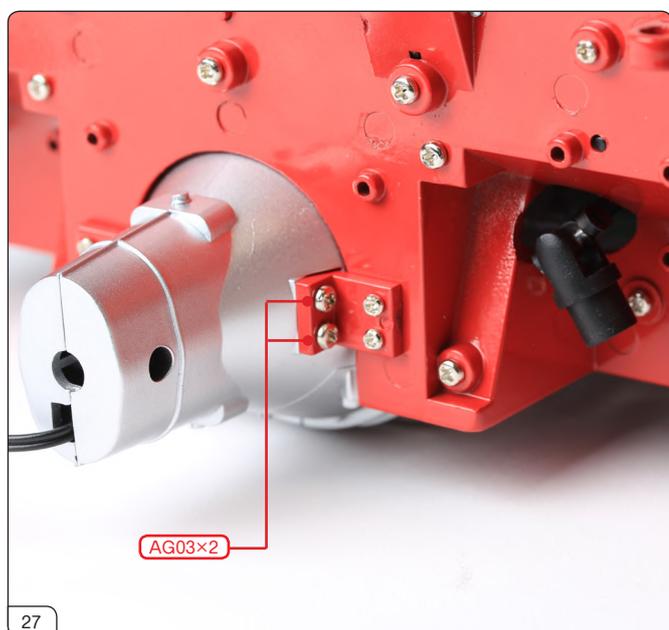
ステージ③7 フロントバルクヘッド4



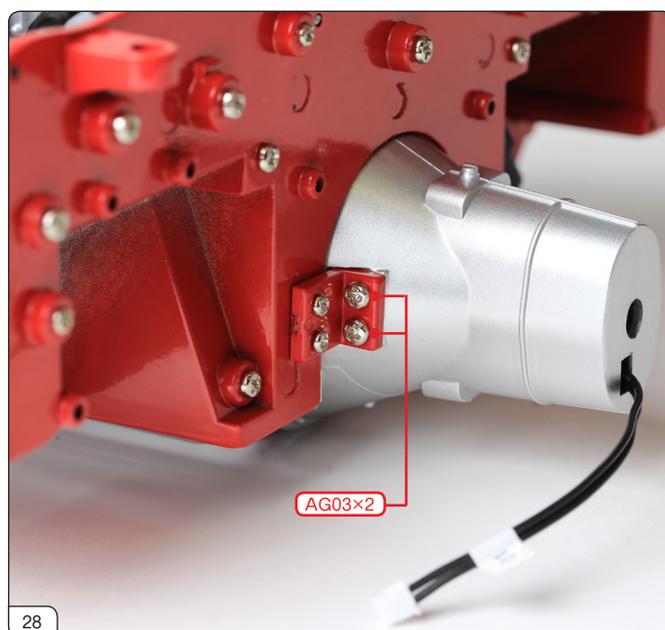
ギヤボックスマウントをAM18のネジ2本でバルクヘッドに固定します。



反対側も同様にギヤボックスマウントをバルクヘッドに固定します。



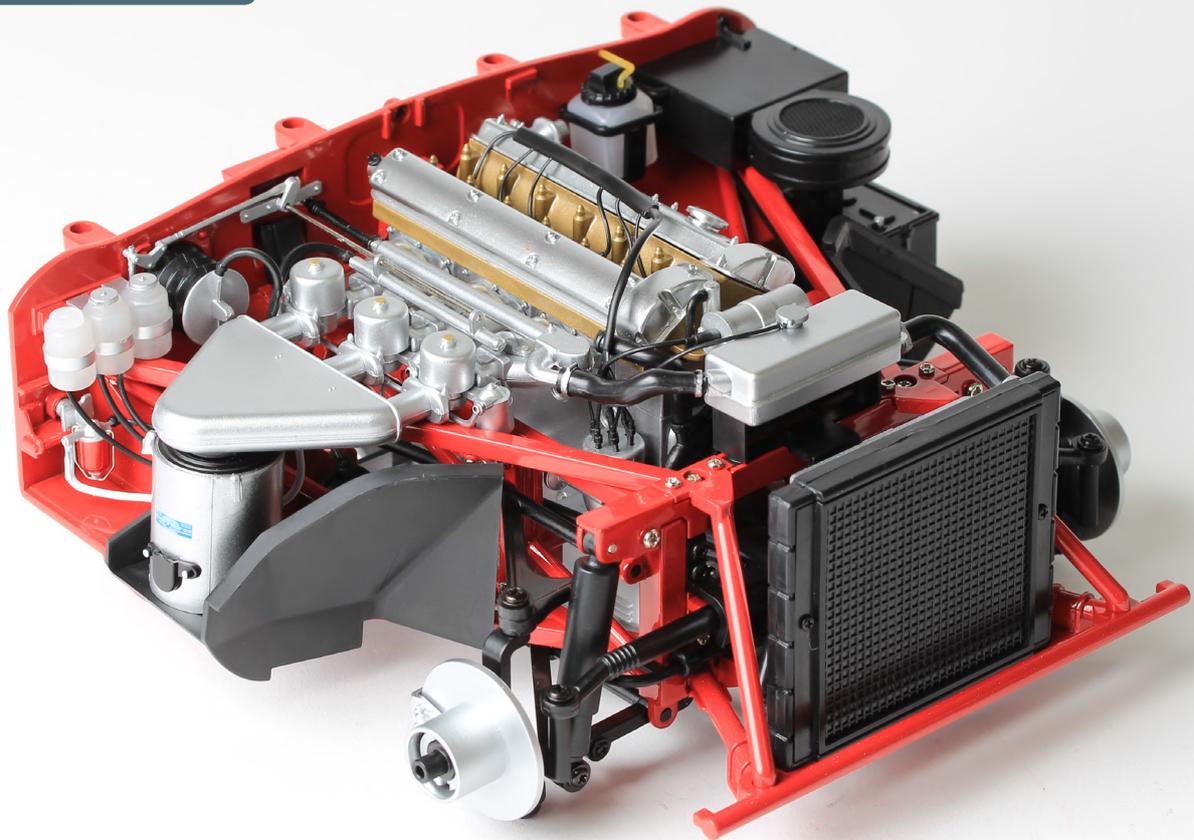
AG03のネジ2本で、ギヤボックスマウントをギヤボックスに固定します。



反対側も同様にギヤボックスマウントをギヤボックスに固定します。

ステージ③7フロントバルクヘッド4

ステージ③7の完了



ステージ③⑧右フロントホイール1

ステージ②④、ステージ②⑤でスペアホイールを組み立てました。ここでは同様の手順で、右フロントホイールを組み立てていきます。まずはホイールリム（外周）とインナースポークの開梱です。



STAGE③⑧パーツリスト

名称

ホイールリム（外周）

インナースポーク×24

ホイールリム（外周）



インナースポーク×24



ステージ[®]39右フロントホイール2

ホイールセンターとスポークリテーナリングにスポークを張っていきます。



ステージ[®]39パーツリスト

名称

ホイールセンター

スポークリテーナリング

インナースポーク×24

ネジAG02×5

ホイールセンター



スポークリテーナリング



インナースポーク×24

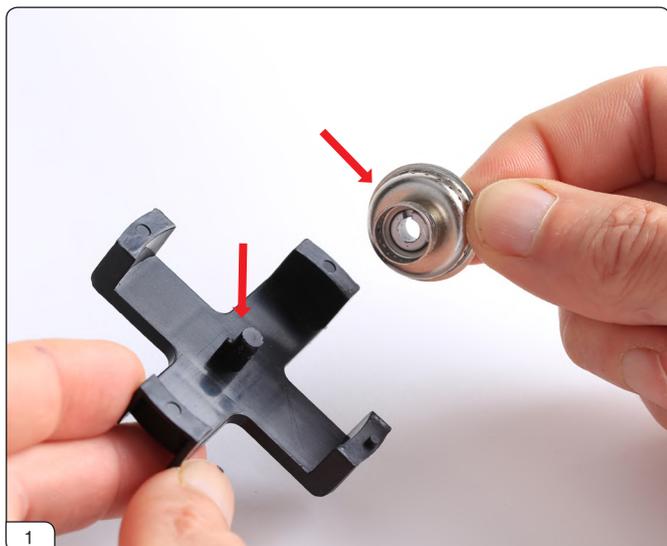


ネジAG02×5



ステージ③9右フロントホイール2

STEP 1

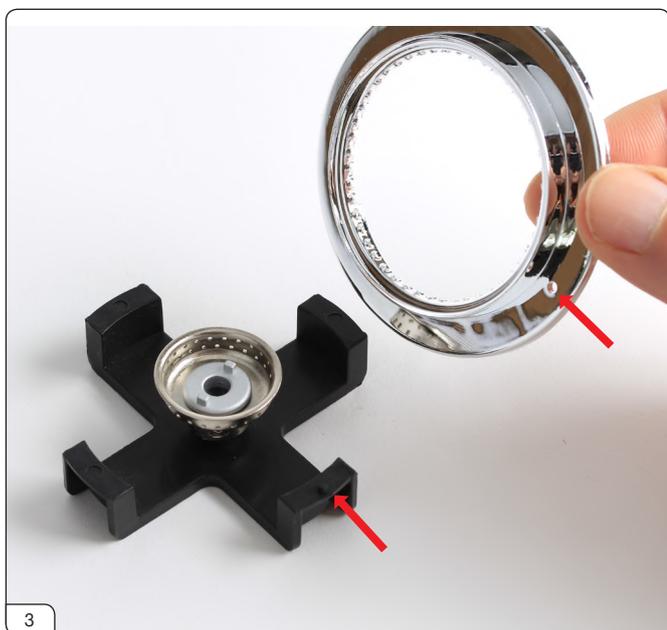


ジグ(治具)をセットする

ステージ③で使ったジグにホイールセンターをセットします。ホイールセンターの切り欠きとジグのタブを合わせて(赤矢印)、ジグのセンターに配置します。ジグは組み立てを容易にするガイドのようなもので、作業が完了したら取り外します。



ジグにホイールセンターがセットされた状態です。

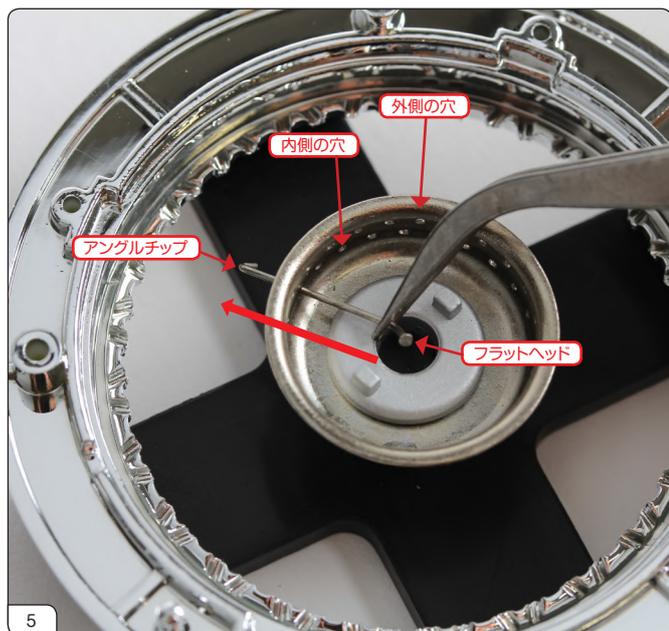


ホイールリムの外周の穴とジグの突起を合わせて(赤矢印)、ホイールリムをジグにはめ込みます。



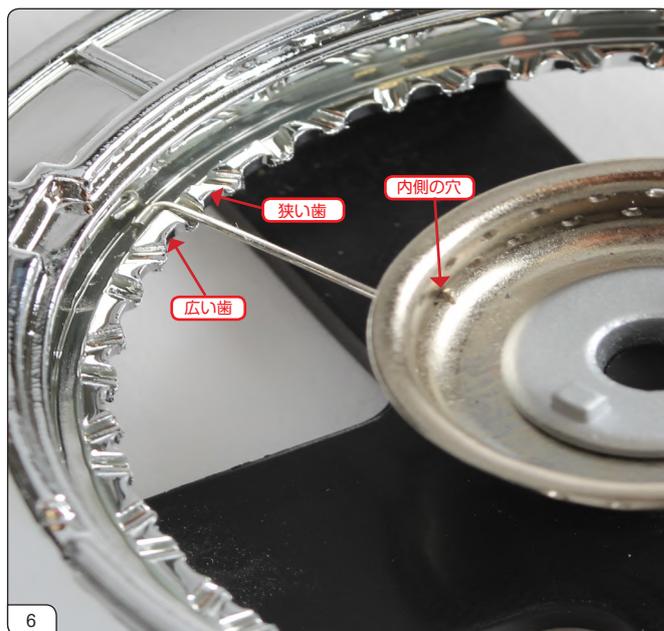
ホイールリムがジグにはめ込まれた状態です。

ステージ③9右フロントホイール2



スポークの取り付け 内側の穴

まず、ホイールリムの内縁に、幅が交互に異なる「歯」があることに注意してください(写真6参照)。取り付けるスポークの両端はほぼ直角に曲がり、一方の端はヘッド部分が釘の頭のように平らになっています(アングルチップとフラットヘッド)。一連の作業は、ピンセットでアングルチップをホイールセンターの穴に通し(赤矢印)、ホイールリムの内縁にある「歯」に引っ掛ける繰り返しとなります。



写真のようにホイールリムの「歯」は、幅が「広い歯」と「狭い歯」が交互に並んでいます。最初の1本はスポークをアングルチップから内側の穴に通し、アングルチップが一番フィットする最も近い「広い歯」に先端を引っ掛けます。作業は付属のピンセットを使用してください。

注意:正しく取り付けるにはコツがあります。ホイールセンターを軽く押したりひねったりして動かし、各スポークのテンションを調整しながら取り付けていきましょう。



次に2本目のスポークを、1本目の隣の内側の穴に通し、アングルチップを次の「広い歯」に引っ掛けます。内側の穴に通すスポークは、すべて「広い歯」に引っ掛けていきます。

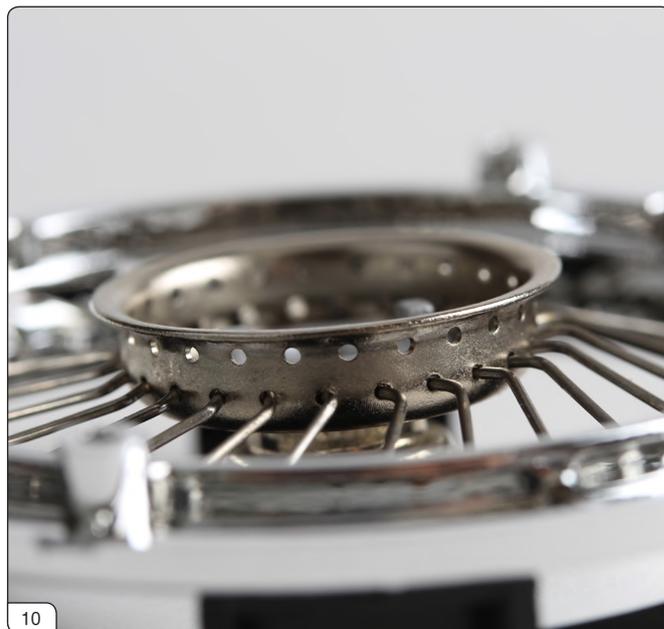


同様に3本目のスポークを取り付け、以後、ホイールセンターの内側の穴がすべて埋まるまで、取り付けを進めます。重要なのは、必ず「広い歯」にアングルチップを引っ掛けることです。注意して作業を進めてください。

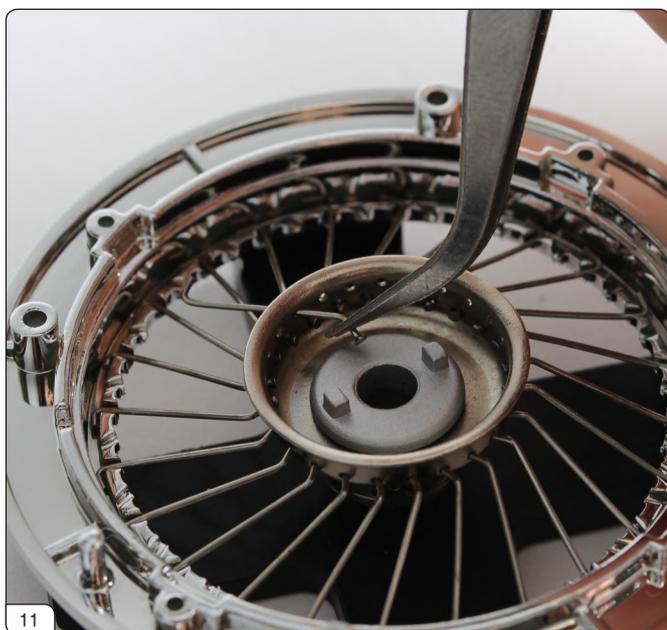
ステージ③9右フロントホイール2



内側の穴にスポークを取り付け終わった状態です。



横から見た状態です。すべてのスポークが、内側の穴に取り付けられています。



スポークの取り付け 外側の穴

続けて、外側の穴にスポークを取り付けていきます。



アングルチップを穴に通して「広い歯」に引っ掛けることは同じですが、アングルチップは、内側の穴と逆方向を向きます。黄矢印が内側の穴のスポークで、赤矢印が外側の穴のスポークとなります。

ステージ③9 右フロントホイール2



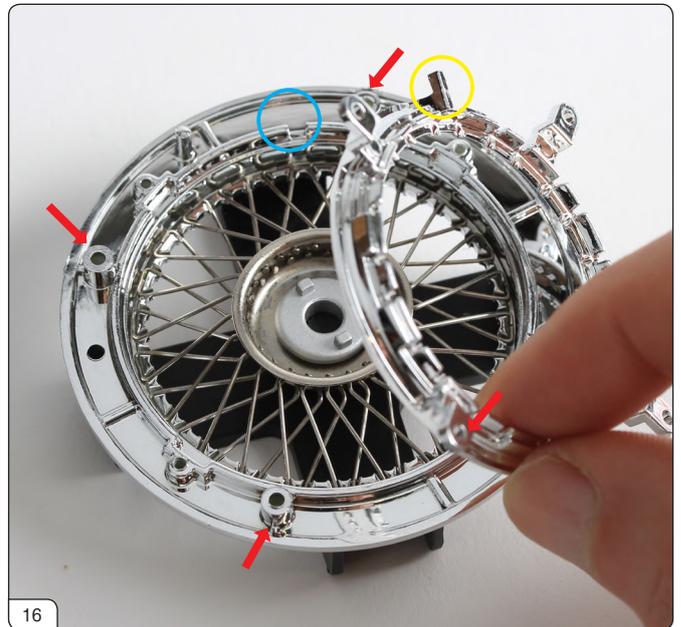
次に2本目のスポークを、1本目の隣の外側の穴に通し、アングルチップを逆向きにして（赤矢印）、次の「広い歯」に引っ掛けます。外側の穴に通すスポークも、すべて「広い歯」に引っ掛けていきます。



以後、ホイールセンターの外側の穴がすべて埋まるまで、取り付けを進めます。重要なのは、必ず「広い歯」にアングルチップを引っ掛けること、アングルチップを逆向きに引っ掛けることです。



外側の穴にスポークを取り付け終わった状態です。



スポークを止める

次はスポークリテーナリングでスポークを止める工程です。スポークリテーナリングを、ホイールリムの上に注意深く置きます。スポークリテーナリングの突起（黄丸印）とホイールリムの切り欠き（青丸印）を合わせると、赤矢印のネジ穴が合うはずで

ステージ③ 右フロントホイール2



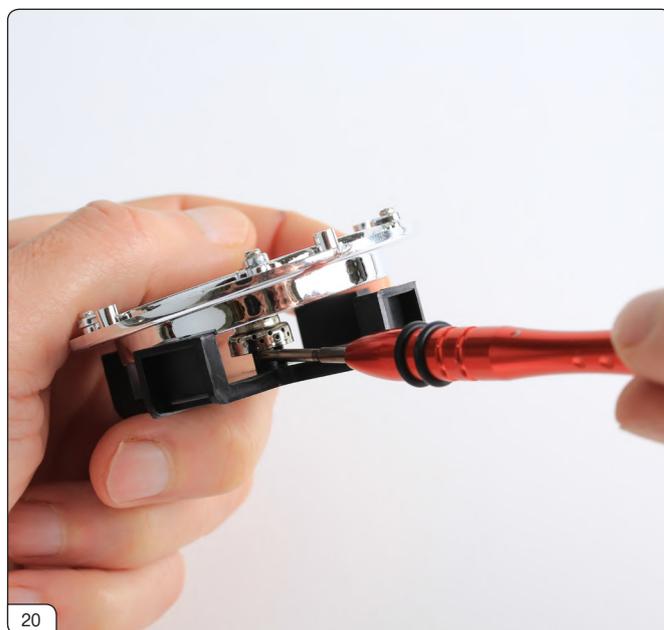
AG02のネジ4本で固定しますが、最初は緩めにネジを締めます。



AG02のネジ全部を緩めに締めたあと、スポークにがたつきがないか確かめながら、各ネジを増し締めしていきます。



スポークがしっかりと固定された状態です。



ホイールをジグから外します。ホイールを無理に引っ張らず、ドライバーなどを梃子にして外しましょう。ジグは残りの車輪を組み立てるときに使います。保管しておいてください。

ステージ③9右フロントホイール2

ステージ③9の完了



ステージ④⑩右フロントホイール3

ステージ③⑨に続いて、右フロントホイールを組み立てていきます。



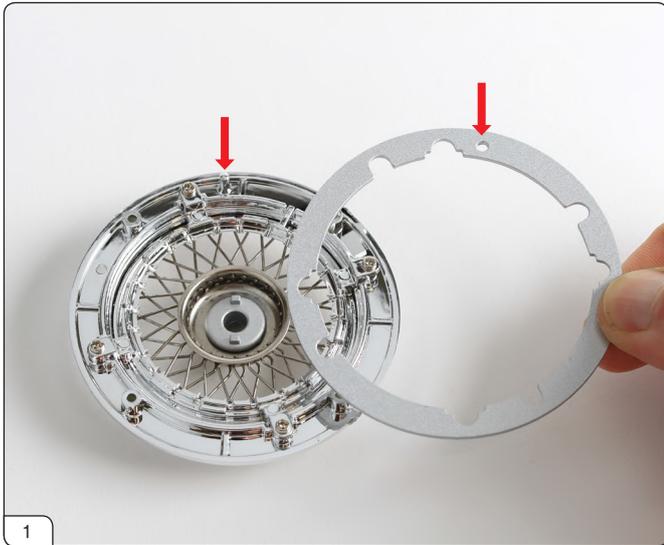
ステージ④⑩パーツリスト

名称
スペーサーリング
インナーホイールリム
スポークタイプB×12
スポークタイプA×12
ネジAG03×5



ステージ④右フロントホイール3

STEP 1



スペーサーの取り付け

ステージ③で組み立てたホイールリムにスペーサーリングを取り付けます。スペーサーリングの穴とホイールの突起を合わせます。

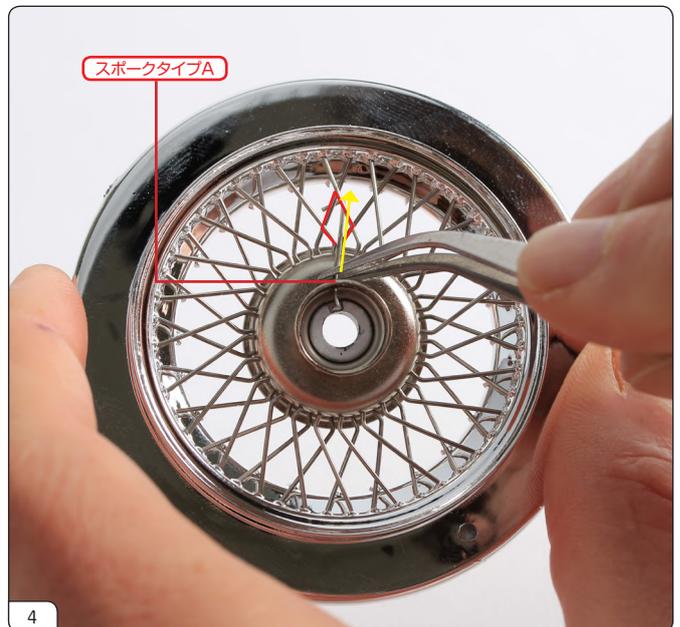


スペーサーリングを「カチッ」と音がするまで押し込みます。



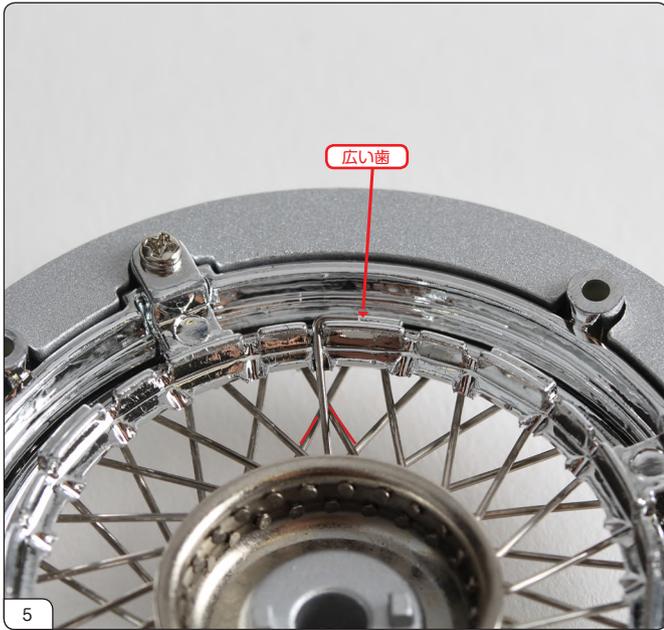
スポークの取り付け 内側の穴

ホイールリムを裏返して、スポークを装着する小さいホイールセンターを上に乗せます。ステージ④と同じようにスポークを通す穴は、内側の穴と外側の穴があります。最初に内側の穴からスポークを取り付けていきます。

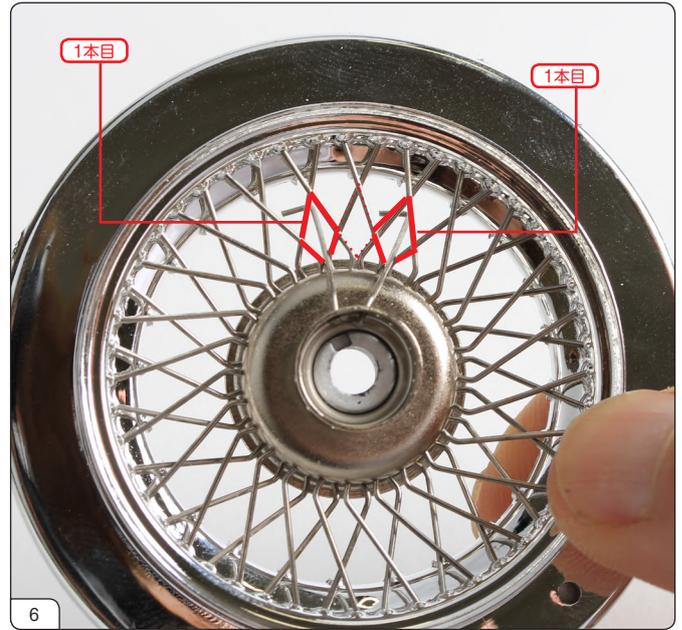


ピンセットを使って、スポークタイプAを内側の穴に通します。アングルチップを赤い菱形の開口部からやや時計回り(黄矢印)に向け、反対側に出します。

ステージ④0右フロントホイール3



ホイールリムを裏返し、先端のアングルチップが「広い歯」に引っかかるかどうかを確認します。「広い歯」に引っかからない場合には、スポークタイプAを引き出して、再度隣の穴に入れてみてください。今度は引っかかるはずです。



最初のスポークタイプAが正しく装着されるのを確認したら、アングルチップはフリーのままにしておきます。続いて2本目のスポークタイプAを隣の内側の穴に通します。

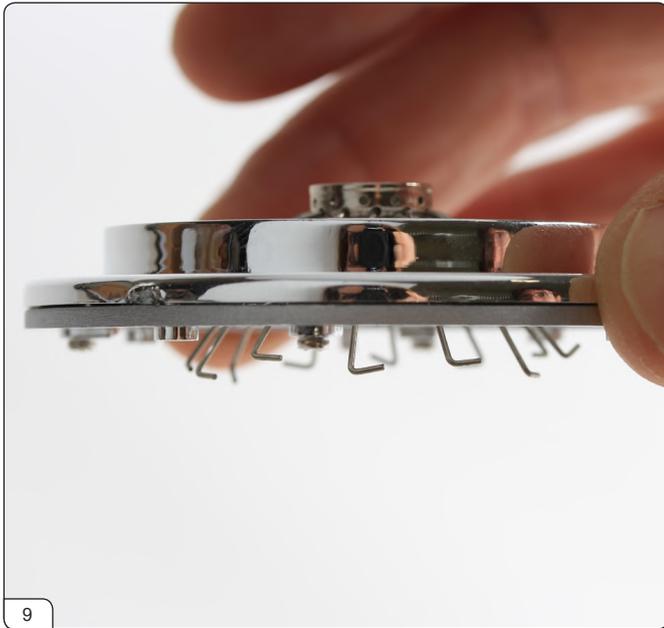


この作業を繰り返して、12本のスポークタイプAを入れていきます。スポークタイプAが入る場所は、赤い菱形部分です。青丸印は工程11に関連した目印です。



スポークタイプAの12本が、内側の穴に装着されました。

ステージ④⑩右フロントホイール3

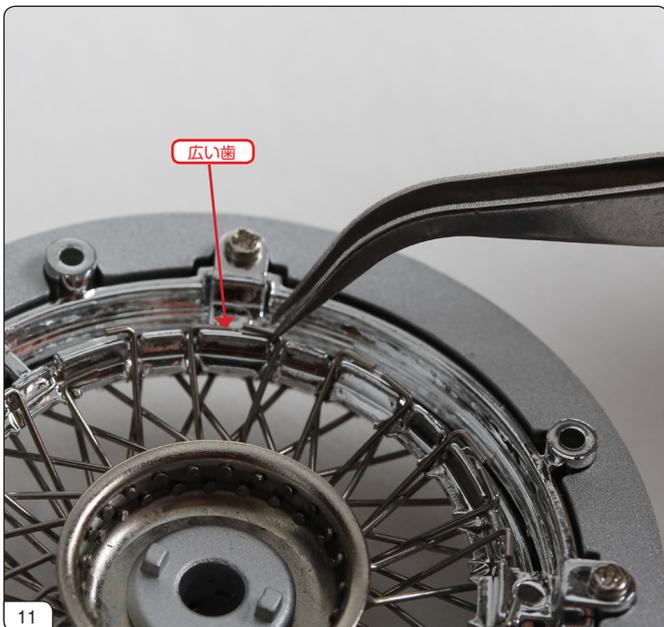


横から見た状態です。アングルチップは、すべてフリーの状態にしておいてください。



スポークの取り付け 外側の穴

次にスポークタイプBを外側の穴に入れていきます。



スポークタイプBの装着は、空いた菱形の開口部（スポークタイプAを入れていない菱形の開口部。工程7の青丸印）に入れます。まずは反対側の広い歯に引っかかるかどうかを確認します。



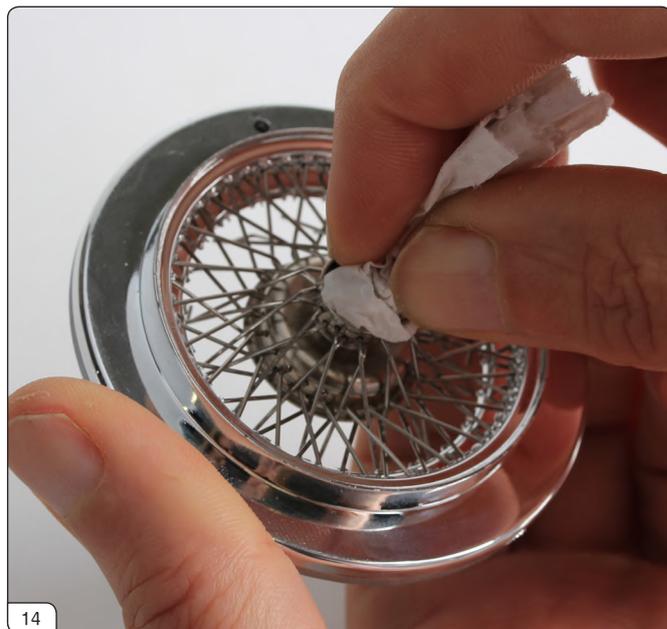
スポークタイプBを反対側に通すと、スポークタイプAと交差（赤と黄色破線）するはずですが、「広い歯」に引っ掛かることを確認しながら、スポークタイプBの12本を入れていきます。アングルチップは、すべてフリーの状態にしておいてください。

ステージ④ 右フロントホイール3



13

スポークタイプBの12本が、ホイールリムに取り付けられました。



14

コットンないしキッチンペーパーを用いて、スポークのフラットヘッド部分を押し込むようにして、フラットヘッドを所定の位置に固定します。



15

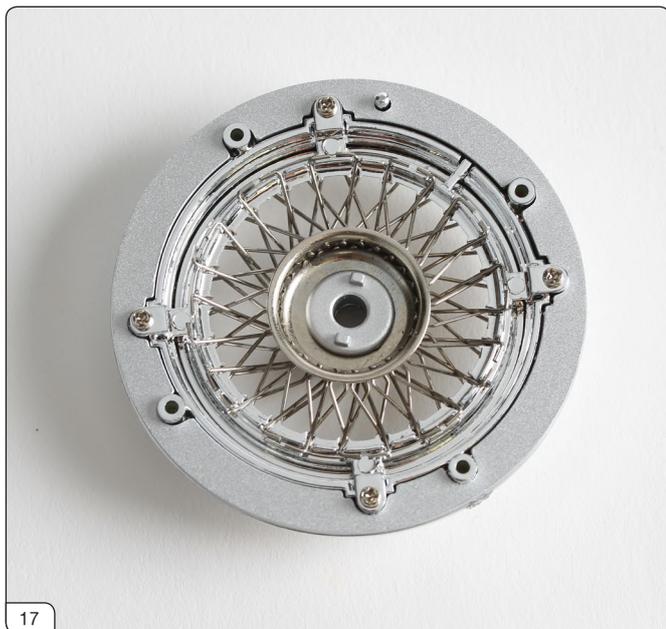
コットンないしキッチンペーパーで、しっかりと押さえながらホイールリムをひっくり返します。



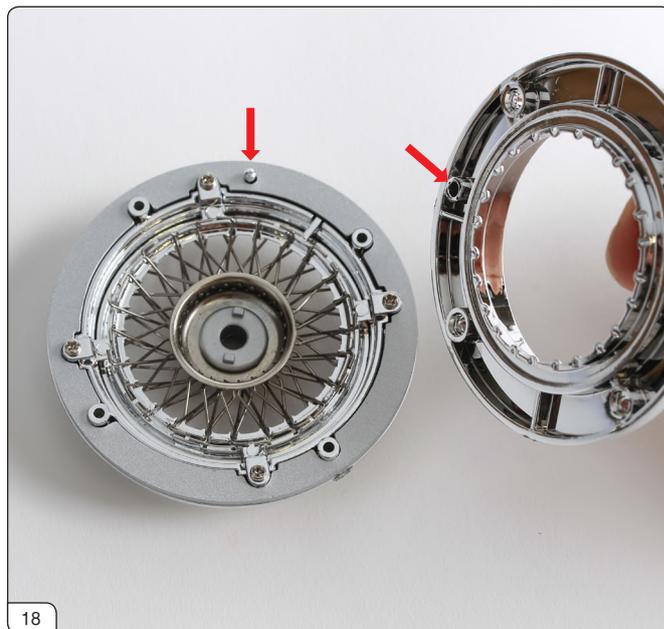
16

コットンないしキッチンペーパーで、しっかりと押さえながらスポークタイプAとスポークタイプBのアングルチップを「広い歯」にセットしていきます。親指でなでるように押さえたり、ピンセットも使ってみてください。

ステージ④ 右フロントホイール3



17
スポークタイプAとスポークタイプBのアンクルチップが、正しくセットされた状態です。



インナーホイールリムの取り付け

このステージで開梱したインナーホイールリムの穴とスペーサーリングの突起(赤矢印)を合わせます。



19
これでネジ穴が合うはずですが、インナーホイールリムをしっかりと押し込みます。ここでスポークリテーナリングとインナーホイールリムが、ぴったりと合っていることを確認してください。ギャップがある場合には、工程17に戻ってスポークを調整します。



20
インナーホイールリムをAG03のネジ4本で固定します。

ステージ40右フロントホイール3

ステージ40の完了

